

(業務資料 No. 370)

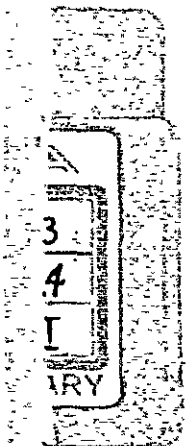
ブラジル工業技術移住者実態調査

1976年3月

国際協力事業団

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

(移住部門)



国際協力事業団

受入 月日	'84. 4. -3	703
登録No.	02378	23.4
		E-I

は し が き

本調査は、昭和43年度および昭和46年度に次ぐ、第3回の工業技術移住者実態調査である。

今回は、昭和36年度から昭和49年度までの14年間に当事業団扱いによりサンパウロ支部管内に移住した918人全員を対象として、その実態——就労環境、待遇、生活、移動、独立状況、移住に関する感想等——を把握することに主眼をおいた。

本報告書は、集計時までに回収の間に合った391人の回答について取りまとめたもので、前回調査との対比を重点としたため、単純な分析にとどまったが、今後の工業技術移住推進上なんらかの参考になれば幸いである。

本調査に協力いただいた工業技術移住者、企業関係者、その他関係各位に対し深く感謝の意を表する。

昭和51年3月

国際協力事業団

移住第二業務部長

JICA LIBRARY



1024302[0]

この調査資料を理解するための参考事項

1. 諸指標

区 分	最低賃金 サンパウロ第1区	生活費上昇率 サンパウロ市	1ドル相当 クルセイロ額(年末)	1クルセイロ相当 円額(年末)
1961年	CR\$ 9.44	— %	CR\$ 0.30	1,199円
1962	13.21	61.8	0.46	781
1963	21.00	80.5	0.60	598
1964	42.00	85.6	1.83	195
1965	66.00	41.2	2.20	164
1966	84.00	46.3	2.20	164
1967	105.00	25.3	2.70	133
1968	129.60	25.2	3.80	95
1969	156.00	22.6	4.32	83
1970	187.20	17.5	4.92	73
1971	225.60	20.6	5.60	64
1972	268.80	14.5	6.18	50
1973	312.00	14.5	6.18	44
1974	376.80	33.0	7.33	42
1975	532.80	32.8	8.85	35

※ 1975年の調査は11月現在(US\$1.00=305円)

2. 調査時の物価

項 目	価 格	円相当額
バス料金(1回)	CR\$ 100	35円
タクシー料金(基本料金・1.2km)	350	123
卵(上・1ダース)	480	168
牛乳(1ℓ)	440	151
米(上・カテテ米・5kg)	2300	805
牛肉(上・コントラフィレ・1kg)	2100	735
ビール(ビン別・1本)	350	123
タバコ(20本入, フィルター付)	560	196
背広上下(既製品)	6000.00~	21000~
ワイシャツ(テトロン)	8000~	2800~
テレビ(白黒12インチ, 国産)	15000.00	56000
冷蔵庫(家庭用大型150ℓ)	20000.00	70000
下宿代月額(食事付合部屋)	6500.00	22750
アパート賃借月額(サンパウロ中心街 1居間2寝室)	20000.00~	70000~

※ 1975年11月現在(CR\$ 1.00=35円)

3. 職種分類

調査結果を取りまとめる便宜上、職種を次のようなグループに分類した。

(1) 技 師

機械、電気、電子、冶金等の技術者。

(2) 設計・検査

各種設計製図技能者、各種検査技能者、品質管理技能者、生産管理技能者等。

(3) 電気技能者

電気機器組立調整技能者、ラジオ・テレビ技能者、電気設備技能者等。

(4) 治工具・金型

治工具製作技能者、金型製作技能者。

(5) 機械仕上

機械、仕上、製缶、溶接、鋳造、木型、板金、木工等の技能者。

(6) その他

貿易業務、管理事務、銀行員、商業等で(1)～(5)に属さないもの。

(7) 自 営

各種独立自営者（共同経営者を含むが、工業技術移住者同志が共同経営している場合、本集計では会社設立・運営の中心的役割を果たしている者を代表者とし、他の移住者は従業員に分類した）。

目 次

I. 調査方法の概要	
1. 調査目的	1
2. 調査対象と調査方法等	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査対象者の推定分布状況	2
(3) 調査方法	2
(4) 調査時期	2
II. 基礎調査結果の概要	
1. 回答者の概況	3
(1) 回答総数	3
(2) 年度別就労先	4
(3) 職種別就労先	4
(4) 学歴別内訳	5
(5) 年齢構成	5
(6) 未・既婚の別	6
2. 移動状況	7
(1) 年度別転社状況	7
(2) 退社理由	7
3. 給与	9
(1) 年度別・職種別平均給与	9
(2) 職種別・就労先別平均給与	10
(3) 給与額別・職種別分類	10
4. 資産状況	11
5. 住宅事情	11
6. 独立自営状況	12
(1) 業種	13
(2) 資本金額および資本構成	13
(3) 従業員数	14
(4) 着任後独立自営までに要した期間	14
(5) 月平均売上高	14
(6) 独立自営地域	15
7. 帰化状況	15
III. アンケート調査結果の概要	
1. 就労状況	16

(1) 現在の会社を選んだ理由	16
(2) 現在の職場に満足していますか	16
(3) 給与は他の従業員に比較し妥当に評価されていると思いますか	17
(4) 給与は他社に比較し妥当だと思いますか	18
(5) 現在の仕事はあなたに適していると思いますか	18
(6) 現在の会社は完全な能力主義だと思いますか	18
(7) 転社希望の有無	19
(8) 独立希望の有無	19
2. 技術および企業環境	19
(1) 機械施設, 工具等は日本と比較して進歩していると思いますか	19
(2) 生産管理, 業務管理等は日本と比較して進歩していると思いますか	20
(3) 職種転換の有無と結果	20
(4) 職種転換の希望	22
(5) 現就労会社が工程改善, 作業能率向上等に注意を払っている程度	23
(6) 会社の工程, 作業能率改善に参画した例があれば, その具体例を書いて下さい	23
(7) あなたの職種について日本で修得しておいた方が良いと思う専門技術は何ですか	24
3. 生活	24
(1) 当国(ブラジル)に定住しますか	24
(2) 結婚	25
(3) 親しい友人	26
(4) 1カ月の生活費	27
(5) 子供の教育	28
(6) 家庭内での使用言葉	28
(7) 移住後ブラジル語習得方法	29
(8) 現在の語学程度	29
(9) 職場で語学に不自由しない程度になるのに要した年月	30
00 副収入の有無	30
011 就労, 生活上とくに必要とするブラジル国法令	30
4. 移住に関する感想	31
(1) 移住してよかったと思いますか	31
(2) ブラジル国について期待していたのとどうですか	32
(3) ブラジル人の性格をどう思いますか	33
(4) ブラジルで取りたいと思っている技能資格, または学歴は何ですか	33
(5) 移住後ブラジルの教育を受けたことがありますか	33
(6) 後続工業技術移住者に対するアドバイス	34

5. 独立自営者についてのアンケート	35
(1) 独立の動機はなんですか	35
(2) 独立自営のための所要資金はどのように調達しましたか	35
(3) 独立のための準備期間はどの位要しましたか	36
(4) 経営が一応の軌道に乗るまでにどの位の期間を要しましたか	36
(5) 取引先はどのように開拓しましたか	36
(6) 経営上困難な問題は何ですか	36
(7) 従業員の採用方法	37
(8) 経営上の抱負	37
(9) 今後独立しようとする工業技術移住者へのアドバイス	37
IV. 附 表	
1. 就労企業一覧表(日系コロニア企業)	38
2. 就労企業一覧表(日系進出企業)	39
3. 就労企業一覧表(外国系企業)	40
4. 自営企業一覧表	41
5. 回答者一覧表	42
V. 工業技術移住者実態調査票	58
VI. アンケート調査票	60

I. 調査方法の概要

1. 調査目的

工業技術移住の中心であるサンパウロ支部管内に移住した工業技術移住者を対象として、その就労環境、待遇、移動、独立状況、移住に関する感想等を調査し、今後の工業技術移住業務推進上の基礎資料を得ることを目的とした。

2. 調査対象と調査方法等

(i) 調査対象

工業技術移住制度の始った昭和36年度から昭和49年度までの14年間に、指名呼寄せおよび産業開発青年隊を除く、いわゆる事業団直扱でサンパウロ支部管内へ移住した工業技術移住者全員。918人。

年度別調査対象者

(家族・単身の別は渡航時の区分による。)

区分	家族(人数)	単身	計(人数)
36年	12(47)	27	39(74)
37	1(2)	39	40(41)
38	5(13)	34	39(47)
39	2(7)	29	31(36)
40	10(27)	69	79(96)
41	15(45)	87	102(132)
42	16(46)	67	83(113)
43	9(23)	50	59(73)
44	7(16)	11	18(57)
45	9(21)	52	61(73)
46	11(26)	60	71(86)
47	24(74)	75	99(149)
48	15(53)	65	80(118)
49	30(107)	57	87(164)
計	166(507)	752	918(1259)
	181%	81.9%	100%

- (註) 1. 指名呼寄せ移住者は全員除外。
2. 昭和39年度開発青年隊32人は除外。

(2) 調査対象者の推定分布状況

調査対象者の推定分布状況は次のとおり(調査結果に基づく推定)

	(人 数)	(調査表回収済数)
ア. サンパウロ支部管内	(7 2 6)	(3 7 3)
(ア) 日 系 企 業	4 3 1	2 2 0
(イ) 外 国 系 企 業	2 3 1	1 2 7
(ウ) 独立自営者(含農業)	4 7	2 3
(エ) 商業等に従事者	1 7	3
イ. 他支部管内への転住者	(5 9)	(1 8)
(ア) リオ・デ・ジャネイロ支部管内	3 3	1 0
(イ) レシ-フェ支部管内	1 1	5
(ウ) ベレーン支部管内	5	1
(エ) ボルトアレグレ支部管内	1 0	2
ウ. 帰 国 者	1 2 4	
エ. 死 亡 者	9	

(3) 調 査 方 法

前回は調査員が、移住者と面接し記入する個別面接聴取法を原則としたが、今回は移住者が思っていることを卒直に記入してもらうことを主眼とし、若干時間的なマイナスを覚悟のうえ、事前に企業を通じ調査票を配布、本人に記入してもらい、密封のうえ、あらためて回収に赴く調査方法をとった。

しかし、現場勤務の多い者、また不在の者については、休日、夜間を利用して自宅に赴き聴取調査をした者、あるいは、サンパウロ支部事務所来訪時を利用して聴取調査をした者もあり、この数は約10%である。

散在した者の調査については葵野会等の組織を通じ、あるいは同船者等の話を頼りに追跡調査を行ったが、時間的余裕があれば更に10%程度の回答数増加があったと思われる。

他支部管内に転出した者については、その所管支部に調査を依頼した。(リオ支部管内は出張調査)

(4) 調 査 時 期

調査は昭和50年10月から同51年1月までの4カ月間にわたっており、この間に給与調整や、物価の上昇があったと思われるが、この修正作業は実施していない。

ただし、調査時点としては一応回収の最も多かった昭和50年11月として差支えないと思われる。

Ⅱ 基礎調査結果の概要

1. 回答者の概況

(1) 回答総数

回答者は391人で調査対象総数の42.6%にあたり、前回より8.8%増の回収率となった。

年度別調査状況

年度	対象総数	回答数	未回収数	帰国数	死亡数	所在未確認数
昭和36	39	15	7	6	0	11
37	40	22	3	4	1	10
38	39	18	5	5	0	11
39	31	15	4	4	0	8
40	79	17	13	10	2	37
41	102	36	29	8	1	28
42	83	30	10	12	0	31
43	59	20	9	10	3	17
44	48	19	11	10	0	8
45	61	21	14	11	2	13
46	71	37	7	14	0	13
47	99	53	20	15	0	11
48	80	46	15	12	0	7
49	87	42	22	3	0	20
計	918	391	169	124	9	225
全体に占める割合	100%	42.6%	18.4%	13.5%	1.0%	24.5%

- 注) 1. 未回収……集計締切時における未回収数であり、勿論所在は判明している。
 2. 帰国……企業、同僚等からの聴取による確認済の数である(一時帰国中の者を含む)。
 3. 所在未確認……時間をかければ所在が判明すると思われる者、距離的な関係から配布出来なかった者等である。

年度別職種別回答者

(単位 人)

年度	技師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機 械 上	その他	自 営	計
36	2	5	1	2	1	0	4	15
37	0	10	1	3	6	0	2	22
38	2	7	0	2	4	1	2	18
39	1	8	0	2	2	1	1	15
40	2	7	0	3	2	1	2	17
41	0	21	1	4	5	0	5	36
42	0	16	2	4	5	1	2	30
43	1	12	3	3	0	0	1	20
44	2	8	2	0	3	3	1	19
45	2	11	4	1	1	2	0	21
46	1	13	9	3	5	3	3	37
47	2	27	11	2	8	2	1	53
48	0	19	11	4	9	2	1	46
49	2	20	9	3	4	3	1	42
計	17	184	54	36	55	19	26	391

注) 技師は本人が技師と申告した者のみとした。

(2) 年度別就労先

在伯年数が長くなる程外国系企業へ移行していることは前回調査の傾向と変りないが、全体の数からみた場合、前回の日系57対外国系43の割合が、63対37と日系企業に就労中の者の割合が高くなっている。

所在未確認者は消息のつかみにくい外国系企業に多いことを勘案しても総数では前回と異なり日系企業の方に多く就労していると思われる。

この現象は日系進出企業の数が増えかつ事業が軌道に乗りだしたことから工業技術移住者の需要が多くなった為であり、このことは同じ日系でもコロニア企業と進出企業との就労数が逆転したことをみても明らかである。

年 度 別 就 労 先

(単位 人)

年 度	日 系			外 国 系	自 営	そ の 他	合 計
	コロニア	進 出	小 計				
36年	1	0	1	10	4	0	15
37	6	6	12	7	2	1	22
38	0	2	2	13	2	1	18
39	3	3	6	8	1	0	15
40	1	3	4	11	2	0	17
41	3	10	13	18	5	0	36
42	7	9	16	12	2	0	30
43	6	5	11	8	1	0	20
44	6	8	14	4	1	0	19
45	6	8	14	6	0	1	21
46	8	20	28	6	3	0	37
47	20	19	39	13	1	0	53
48	15	18	33	11	1	1	46
49	16	19	35	6	1	0	42
計	98	130	228	133	26	4	391

註 その他は休職中の者

(3) 職種別就労先

外国系に技師が多いのは、職階がはっきりしているからであろうし、また資格を取得すると好待遇を求めて外国系に就労する傾向があるからであろう。

日系の進出とコロニアを対比させてみると、コロニア企業に電気技能者、機械仕上部門が多い現象を示している。これは企業の形態と規模によるものと思われる。

日系、外国系いずれも前回に比べ機械仕上部門の比率が減少し、設計、検査部門の比率が32.8%から50.4%と大巾に増えているのが目立つ(職種転換の項参照)

職 種 別 就 労 先

(単位 人)

区 分	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	そ の 他	計	%
日系コロニア	1	35	26	7	18	11	98	26.8
日系進出	3	76	19	6	18	8	130	35.6
小 計	4	111	45	13	36	19	228	62.4
外国系 全体に占める 外国系の割合	13 (76.5)	72 (39.1)	9 (16.7)	23 (63.9)	16 (29.1)	0 (0)	133	36.5
休 職 中	0	1	0	0	3	0	4	1.1
合 計	17	184	54	36	55	19	365	100%

(注) 自営者26名を除いた。

(4) 学 歴 別 内 訳

工業大学(大学の工科)卒、工業高校卒の率は年々高くなる傾向にあるが、とくにここ数年間とみると工業大学卒の率が約30%を占めているのは注目に値しよう。

学 歴 別 内 訳

(単位 人)

年 度	工業大学	工業高校	職業訓練校	専門学校	そ の 他	計
36	4	4	0	1	6	15
37	0	5	13	0	4	22
38	3	7	4	0	4	18
39	1	6	2	2	4	15
40	5	9	2	0	1	17
41	5	18	4	3	6	36
42	2	7	9	5	7	30
43	5	6	3	3	3	20
44	3	8	3	1	4	19
45	7	7	2	3	2	21
46	12	11	4	3	7	37
47	11	25	6	7	4	53
48	13	19	4	4	6	46
49	16	16	2	5	3	42
計	87	148	58	37	61	391
%	22	38	15	9	16	100

(5) 年 令 構 成

全体の平均年齢(調査時)は32才であり非常に若い。

一方昭和36年度より当初3年間を除き、渡航時の平均年齢はほぼ25~27才となっている。このことは逆に経験豊富な中高年層の技術、技能者が少ないことを意味しており今後の問題点として検討する必要がある。

年 令 構 成

(単位 人)

年令才 渡航年次	20~25	26~30	31~35	36~40	41以上	計	平均年令
36	0	0	1	4	10	15	44才
37	0	0	15	6	1	22	35
38	0	0	8	8	2	18	36
39	0	0	10	4	1	15	35
40	0	2	9	5	1	17	36
41	0	4	19	7	6	36	36
42	0	7	17	5	1	30	33
43	0	5	10	5	0	20	33
44	0	12	7	0	0	19	30
45	1	10	8	2	0	21	31
46	4	23	7	2	1	37	29
47	10	28	7	8	0	53	29
48	16	20	5	5	0	46	28
49	13	15	10	3	1	42	29
計	44	126	133	64	24	391	32
全体に占める割合	1.1%	3.2%	3.4%	1.6%	6.1%	100%	

(注) 年令は調査時点のものである。

(6) 未・既婚の別

昭和45年度組までは既婚者が多いが、昭和46年度組以降は未婚者が多い。

しかしながら、渡航年次が新しくなるに従い未婚者の率が高くなっている訳ではなく、このことは結婚して渡航する傾向が年々増えているとみて良い。

また、渡航後4~5年すると生活が落ち着き結婚してゆくことは前回とほぼ同様である。

未・既婚の別 (単位 人)

年 度	未 婚	既 婚	計
36	0	15	15
37	2	20	22
38	0	18	18
39	1	14	15
40	1	16	17
41	3	33	36
42	2	28	30
43	6	14	20
44	4	15	19
45	4	17	21
46	23	14	37
47	29	24	53
48	31	15	46
49	28	14	42
計	134	257	391
%	34.3%	65.7%	100%

2. 移動状況

(1) 年度別転社状況

所在未確認者の大多数が当初就労先を動いていると見なければならぬことを考えるとき、必ずしもこの統計が実態を把握しているとは限らない。

従って、この統計は、一つの目安として考えるべきである。

回答者の3分の1が転社歴ゼロであり、次いで転社歴1回の者が、30.7%となっている。

全体の平均転社回数は1.3回在伯7年以上の者に限っていえば1.7回が平均値となっている。

在伯7年以上の者で転社歴ゼロおよび1回という者は約半数あり、この統計に限っていえば、決して腰が軽いとはいえないであろう。

年度別転社状況 (単位 人)

年度 \ 転社回数	0	1	2	3	4	5	計	1人当たり平均転社回数
36	1	6	3	2	3	0	15	2.0
37	4	4	2	6	5	1	22	2.3
38	2	6	6	0	4	0	18	1.9
39	3	4	4	2	2	0	15	1.7
40	1	10	5	1	0	0	17	1.4
41	5	17	8	6	0	0	36	1.4
42	7	5	6	5	7	0	30	2.0
43	5	6	6	2	1	0	20	1.4
44	4	5	7	3	0	0	19	1.5
45	6	4	4	3	4	0	21	1.8
46	13	17	7	0	0	0	37	0.8
47	17	18	14	3	0	1	53	1.1
48	31	12	2	1	0	0	46	0.4
49	33	6	3	0	0	0	42	0.3
計	132	120	77	34	26	2	391	1.3回
回答別割合	33.8%	30.7%	19.7%	8.7%	6.6%	0.5%	100%	

(2) 退社理由

3,91人の総退社回数は490回であるが、このうち300回分について理由の説明があった。

退社理由は予め明示して質問することをせず、本人が自由に申告する形のため分類のレベル統一ができず解り難い面もあるが、高賃金を求めての移動が圧倒的多数を占めている。

給与と明示した者のほか例えば「他社就職のため」等の中にも高賃金を求めてのものとみられる者も多いことから、その率は50%近いと推測される。

取務の不適合または技術不足を理由とする者が、10%以上あることは、現行の事前配置方式ではある程度避けられないであろうが、慎重なあっせんには今後とも留意する必要がある。

「その他」の中には「旅行のため」とする者が多く、再就職が容易なことにもよるであろうが、一時的なレジャーのため簡単に退社することは注目される。

退 社 理 由

(回答あった300例の退社理由)

(単位 件数)

退社理由 年度	1 給 与	2 他社 就職 のため	3 勉強 のため	4 人事 管理 上の 不満	5 外国系 企業 で働く ため	6 倒産 または 事業 不振	7 職務の 不適合 または 技術不足	8 将来性 がない から	9 解雇 されて	10 独立 のため	11 その他	計
36	1	9	0	1	0	2	1	0	2	6	1	23
37	7	9	0	2	0	0	2	1	3	0	7	31
38	5	3	0	2	0	1	3	0	2	2	0	18
39	7	1	0	1	0	2	0	1	3	1	2	18
40	6	4	0	0	0	2	1	0	0	0	1	14
41	13	5	1	1	0	0	2	0	1	2	5	30
42	20	5	1	1	0	1	2	0	2	0	6	38
43	9	5	1	0	0	0	1	0	0	0	3	19
44	4	1	1	1	0	0	5	0	0	1	4	17
45	7	2	1	2	0	2	6	0	3	1	2	26
46	5	3	3	5	0	1	3	2	0	1	1	24
47	13	3	1	6	1	1	4	1	1	0	0	31
48	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	4
49	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	7
計	100	50	9	23	1	13	34	5	18	14	33	300
%	33.3	16.7	3.0	7.7	0.3	4.3	11.3	1.7	6.0	4.7	11.0	100

注) 退社理由の分類は次のように行なった。

1. 給 与……単に給与と記したもまたは現給に不満と記したも。
2. 他社就職のため……より高給を求めての者、前の会社に不満で他社へ就職した者あるいは他社の引き抜きによるものが含まれていると思われる。
3. 勉強のため……腕をみがくため、視野を広めるため、勉強のためと記した者をまとめた。
4. 人事管理上の不満……職場環境、人間関係に不満なもの。
5. 外国系企業で働くため。
6. 倒産または事業不振……就労している会社が倒産したり事業不振のため退職のやむなきに至った者。
7. 職務の不適合または技術不足……職種が合わなかったり、技術の不足を感じて退職に至った者。
8. 将来性がないから……会社の将来性がないから、あるいは事業内容に将来性がないからとした者。
9. 解雇されて
10. 独立自営のため
11. その他……一身上の都合、旅行、一時帰国、病気等と記した者をまとめた。

3. 給 与

(1) 年度別・職種別平均給与

給与についての回答は、自営を除く365人中269人、73.7%であった。

先述の如く、調査期間が4カ月に亘ったため、集計時点での給与は10%程度昇給しているものとみられ本表の平均給与は昭和50年11月時点とみてほぼ間違いないと思われる。

前回調査時から今回調査時までの生活費の上昇率(公式発表)は232倍、最低賃金は2.36倍となっているのに対し、平均給与は3.99倍となっており順調に伸びているといえよう。

総平均給与はCR\$5,768であるがこれを円に換算した場合(US\$1.00=CR\$885=305円)約20万円、前回調査時は92,500円(CR\$1.00=64円)であった。

年度別・職種別平均給与 (単位 CR\$)
() 人数

区 分	技 師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機械仕上	そ の 他	年度平均
36年度	(1) 8,600	(2) 14,260	(4) 7,650				(7) 9,674
37		(7) 6,223	(1) 8,000	(3) 4,900	(2) 4,150		(13) 5,736
38	(2) 13,650	(5) 9,020		(2) 4,500	(3) 4,467	(1) 4,000	(13) 7,600
39	(1) 14,000	(7) 8,998		(2) 4,274	(1) 5,000	(1) 4,000	(12) 7,878
40	(2) 10,900	(7) 8,257		(2) 4,500	(2) 2,850	(1) 7,000	(14) 7,236
41		(19) 7,387	(1) 4,800	(3) 3,500	(5) 3,980		(28) 6,270
42		(13) 5,787	(2) 5,348	(1) 5,613	(5) 4,841	(1) 6,000	(25) 5,544
43	(1) 14,000	(7) 5,558	(1) 5,700	(2) 4,750			(11) 6,191
44	(2) 8,800	(4) 6,275	(1) 4,050		(2) 5,525	(2) 6,600	(11) 6,455
45	(2) 8,100	(7) 6,378	(3) 5,267		(1) 3,120	(2) 4,500	(15) 5,918
46	(1) 12,000	(6) 5,483	(9) 4,196	(3) 6,100	(3) 3,500	(2) 4,750	(24) 5,040
47	(2) 5,750	(21) 5,879	(5) 4,240	(2) 5,150	(5) 4,170	(2) 1,900	(37) 5,165
48		(12) 4,240	(5) 4,164	(4) 3,650	(6) 3,000	(2) 6,250	(29) 4,027
49	(2) 16,400	(13) 3,912	(6) 5,265	(3) 3,300	(4) 3,500	(2) 2,250	(30) 4,792
職種別平均	(16) 10,988	(130) 6,310	(38) 5,028	(30) 4,560	(39) 3,952	(16) 4,594	総平均 (269) 5,768

(2) 職種別・就労先別平均給与

給与を就労先別にわけると、やはり前回同様外国系企業が全般的に高い。

とくに技師、設計検査、電気技能者にその差が見受けられる。

同程度の技術の場合、日系と外国系と比べどちがが高いかという事は判定し難いが在伯年数が長い程外国系企業へ移行する傾向から勘案すると経験および語学力をある程度もった外資系の就労者が高給与であることは、当然であろう。

職種別・就労先別平均給与 (単位 CR\$)
() 人数

区分	技 師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機械仕上	その他	計
日系コロンビア	(2) 7,400	(20) 5,829	(13) 4,601	(6) 4,800	(13) 4,156	(11) 4,318	(65) 4,947
日系進出	(3) 8,100	(49) 4,899	(14) 4,300	(4) 4,900	(12) 3,727	(5) 5,200	(87) 4,769
外国系	(11) 12,427	(61) 7,601	(11) 6,452	(20) 4,420	(14) 3,956	-	(117) 6,967
計	(16) 10,988	(130) 6,310	(38) 5,028	(30) 4,560	(39) 3,952	(16) 4,594	(269) 5,768

(3) 給与額別・職種別分類

CR\$ 3,001～CR\$ 6,000 が全体の60%以上を占めている。

CR\$ 2,000 以下の者4人のうち、2人は現在工業技術と関係のない事務系の仕事に従事しており、他の電気技能者、機械仕上工の2人も低技能者である。日本の如く年功による昇給のない社会においてはこの4人に今後相当の技術の練磨と奮起を期待しなければならない。

給与額別・職種別分類 (単位 CR\$)
(単位 人)

給 与 額	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	計	
							人 数	%
CR\$ 2,000 以下	0	0	1	0	1	2	4	1.5
2,001～ 3,000	0	8	3	2	9	2	24	8.9
3,001～ 4,000	0	19	9	11	12	3	54	20.1
4,001～ 5,000	0	25	12	9	12	4	62	23.0
5,001～ 6,000	2	26	8	4	4	2	46	17.1
6,001～ 7,000	2	10	0	4	1	2	19	7.1
7,001～ 8,000	0	15	1	0	0	0	16	5.9
8,001～ 9,000	2	8	1	0	0	1	12	4.5
9,001～10,000	2	9	1	0	0	0	12	4.5
10,000～ 以上	8	10	2	0	0	0	20	7.4
計	16	130	38	30	39	16	269	100

4. 資産状況

資産状況の質問に答えた者は総回答者数の約50%にとどまった。

回答の無かった者には資産の無い者が多いと思われるので必ずしも全体を代表する数字とは言い難いが、逆に資産がありながら回答しなかった事実もあることから一応の平均値とみて差支えないであろう。

この197人の総平均資産はCR\$ 191,226、円換算で約660万円(US\$ 100= CR\$ 885) = 305円)であり、前回の163万円の約1倍に達している。

このうち73%を不動産が占めておりまたこの率は前回の63%を10%上回っている。

当然の事ながら全体として在伯年数が長い程蓄えが多くなっていることを示している。

年度別資産状況

(単位 CR\$)

区分	現預金	不動産	公社債	その他	計	平均
36年度 7人	394,000	930,000	36,428	12,143	6,608,000	941,000
37 " 11 "	10,436	198,182	3,455	14,545	2,492,800	226,618
38 " 9 "	36,222	49,444	-	2,222	4,796,000	532,889
39 " 9 "	11,222	174,444	16,667	1,667	1,953,000	217,000
40 " 13 "	168,700	221,538	2,769	6,385	5,192,100	399,392
41 " 18 "	18,183	205,000	7,944	7,111	4,288,300	238,239
42 " 18 "	18,111	132,778	3,111	2,056	2,809,000	156,051
43 " 10 "	1,400	130,500	6,000	7,000	1,575,000	157,500
44 " 8 "	27,750	117,500	6,250	6,000	1,260,000	157,500
45 " 11 "	13,364	58,818	3,909	3,727	878,000	79,818
46 " 20 "	15,025	60,350	8,500	8,500	1,737,500	86,875
47 " 24 "	16,083	48,750	-	3,958	1,651,000	68,792
18 " 16 "	13,625	41,688	15,375	3,000	1,179,000	73,688
49 " 23 "	14,126	36,087	435	3,783	1,251,900	54,130
計197人	7,911,600	27,436,000	1,147,000	1,177,000	37,671,600	
平均	40,160	139,269	5,822	5,975		191,226

5. 住宅事情

独立家屋、アパート、下宿或は社宅等と正確に分類して回答した者が少なかつたため、今回の集計は、自己所有、分割払購入中または、賃借別の分類のみとした。

この調査でみると、大体7年在伯すると約半数の者が、自己所有または、分割購入中となっている。

前回の調査と比べ、特に目立つことは、回答者総数の3分の1が、自己所有か分割購入中となっており(前回16%)、それだけ給与面が改善されたと同時に購入条件が、有利になったことを示している。

年 度 別 住 宅 事 情

(回答364人)

区 分	自己所有		分割払購入中		賃 借		そ の 他		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
36年度	4	28.6	2	14.3	8	57.1	0	0	14	100
37	7	33.3	6	28.6	8	38.1	0	0	21	#
38	7	38.9	7	38.9	4	22.2	0	0	18	#
39	4	26.7	2	13.3	8	53.3	1	6.7	15	#
40	2	12.5	7	43.8	6	37.5	1	6.2	16	#
41	8	22.8	12	34.3	15	42.9	0	0	35	#
42	5	16.1	12	38.7	13	41.9	1	3.3	31	#
43	4	20.0	5	25.0	9	45.0	2	10.0	20	#
44	2	11.1	3	16.7	12	66.7	1	5.5	18	#
45	1	5.3	4	21.0	13	68.4	1	5.3	19	#
46	1	3.0	3	9.1	27	81.8	2	6.1	33	#
47	1	2.4	3	7.1	31	73.8	7	16.7	42	#
48	1	2.3	4	9.1	29	65.9	10	22.7	44	#
49	1	2.6	2	5.3	26	68.4	9	23.7	38	#
計	48	13.2	72	19.8	209	57.4	35	9.6	364	100

(注) その他とは社宅あるいは下宿等と思われるが、一部賃借のなかにもこれらが含まれていると想定される。

業 種 別 住 宅 事 情

(回答364人)

区 分	自己所有		分割払購入中		賃 借		そ の 他		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
技 師	3	17.7	9	52.9	5	29.4	0	0	17	100
設計検査	21	12.2	43	25.0	94	54.7	14	8.1	172	#
電気技能者	2	4.0	5	10.0	34	68.0	9	18.0	50	#
治工具金型	7	19.4	6	16.7	20	55.6	3	8.3	36	#
機械仕上	12	24.5	4	8.2	28	57.1	5	10.2	49	#
そ の 他	0	0	2	11.8	12	70.6	3	17.6	17	#
自 営	3	13.0	3	13.0	16	69.6	1	4.4	23	#
計	48	13.2	72	19.8	209	57.4	35	9.6	364	100

6. 独立自営状況

何等かの形で自営独立している者は全体で約40～50人にのぼるとみられるが、今回の調査では、そのうち26人の独立状況が判明した。以下はその概要である。

(1) 業 種		
機械部品下請加工	6人	
電気, 電子機器修理販売	5人	
電気機器, 部品製造	2人	
板金溶接	2人	
鋳 造	1人	
鉄骨, 鉄サッシ類製造	1人	
電気工事	1人	
空調設備設計, 施工	1人	
家具製造	1人	
製 糖 業	1人	
映画製作	1人	
食 品 店	1人	
洋 品 店	1人	
農 場 経 営	2人	
計	26人	

(2) 資本金額および資金構成(回答20人)

CR\$	10,000	(自)	1人
CR\$	15,000	(自)	1人
CR\$	20,000	(自)	1人
CR\$	30,000	(自1, 共2)	3人
CR\$	35,000	(自)	1人
CR\$	36,000	(共)	1人
CR\$	40,000	(自)	1人
CR\$	43,000	(共)	1人
CR\$	50,000	(共)	1人
CR\$	80,000	(共)	1人
CR\$	100,000	(自)	2人
CR\$	200,000	(共)	1人
CR\$	300,000	(共)	2人
CR\$	776,000	(共)	1人
CR\$	3,500,000	(共)	1人
CR\$	15,400,000	(共)	1人
	計		20人

注 (自) = 自己資金

(共) = 共同出資

(3) 従業員数(回答19人)

なし	1人
2人	1人
3人	3人
4人	2人
5人	1人
7人	1人
15人	1人
16人	1人
18人	1人
20人	1人
30人	1人
50人	2人
60人	1人
120人	1人
700人	1人
計	19人

(4) 若伯後独立自営までに要した期間(回答23人)

1年	3人
2年	5人
3年	3人
4年	3人
5年	4人
7年	1人
8年	4人
計	23人

(5) 月平均売上高(回答16人)

CR\$ 9,000	1人
CR\$ 20,000	1人
CR\$ 30,000	1人
CR\$ 34,000	1人
CR\$ 40,000	1人
CR\$ 50,000	2人
CR\$ 70,000	2人
CR\$ 150,000	3人
CR\$ 180,000	1人
CR\$ 300,000	1人
CR\$ 700,000	1人
CR\$ 4,000,000	1人
計	16人

(6) 独立自営地域（回答26人）

サンパウロ市内	21人
サント・アンドレー市内	1人
オザスコ市内	1人
ディアデマ市内	1人
パラ州	1人
アマゾニア州	1人
計	26人

7. 帰化状況

回答者391人中帰化した者は4人あった。

着伯年度	帰化した年	就労先
昭和39	46	日系コロニア企業
" 40	46	"
" 41	48	日系進出企業
" 46	(不明)	"

Ⅲ. アンケート調査結果の概要

1. 就労状況

(1) 現在の会社を選んだ理由

回答の多かった理由は、次のような事項であった。

- － 自分の専門職種（自分にあっている職種）である
- － 給料がよかった
- － 職種変更をしたかった
- － 友人の紹介があった
- － 外国系でことばを覚えたかった

予め回答例を用意しなかったため、まちまちの回答となった。

例えば、調査対象者は全員事業団あっせんによるものであるから、391人の回答者中転職経験のない132人については「事業団あっせんによる」あるいは「渡伯手段として」と回答する者である。従って転職歴のある者についてのみ集計した。

(2) 現在の職場に満足していますか

ア. 回答

(イ) 人間関係

(回答352人)

区 分	日系コローア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
満足している	28人	31%	21人	16%	36人	27%	85人	24%
普通	48	53	89	69	79	60	216	61
不満足	15	16	19	15	17	13	51	15
計	91	100	129	100	132	100	352	100

(ロ) 仕事

(回答352人)

区 分	日系コローア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
満足している	32人	35%	36人	28%	30人	23%	98人	28%
普通	50	55	76	59	83	63	209	59
不満足	9	10	17	13	19	14	45	13
計	91	100	129	100	132	100	352	100

(ハ) 厚生施設

(回答343人)

区 分	日系コローア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
満足している	7人	8%	6人	5%	37人	28%	50人	15%
普通	37	43	61	48	49	38	147	43
不満足	42	49	60	47	44	34	146	42
計	86	100	127	100	130	100	343	100

1. 分析

(ア) 人間関係

全体として、約4分の1の者が人間関係に満足している。普通と回答した者は61%で満足と回答した者との計は85%となっている。

不満足と回答した者は15%ありこの率は前回の調査と変わっていない。

日系進出企業において満足と回答した者が最も少ないが、これは本社の経営方針がそのまま導入され勝ちなことから派生する融和の欠如に原因があると見受けられ巡回相談時にもよくその声を聞く。

日系コロナ企業においては前回に比べ満足と回答した者が8%増えたことが注目されよう。

(イ) 仕事

全体の率としては前回とほぼ変りないが、日系コロナ企業において満足と回答した者が前回に比べ12%増え、逆に外国系企業において12%減少したことは、特記すべきである。

コロナ企業が増えた原因として組織自体が整備されてきたこと、あるいは合理化されてきたこと等が考えられる。

(ウ) 厚生施設

厚生施設を整えることは日本に比べ、力を入れないのが一般的であるが、外国系大企業は医療施設、スポーツ関係施設、あるいはレジャー関係施設の充実を計る傾向にある。このことは今回の調査でも明白となっており、満足していると回答した率は外国系が最も多い。

しかし外国系企業に就労している移住者は、ブラジルの習慣に慣れまた日本の厚生施設の現状を余り知らない在伯年数の長い者が多いことも念頭に置くべきであろう。

逆に日系企業に満足と回答した者が少なく、不満足と回答した者が多いのは、日本の現状を知った新来の移住者が多いこともこの結果の一つの原因と思われる。

(3) 給与は他の従業員に比較し妥当に評価されていると思いますか

ア. 回答

(回答343人)

区 分	日系コロナ企業		日系進出企業		外国系企業		計	
思 っ	20人	22%	22人	17%	35人	28%	77人	23%
普 通	46	51	63	50	63	50	172	50
思 わ ない	24	27	42	33	28	22	94	27
計	90	100	127	100	126	100	343	100

1. 分析

給与は、他人から高給にみえても本人は仲々満足に至ることがすくないものであるが、満足と思っていると回答した者が23%あった。

各率ともほぼ前回の調査と大差がない。

(4) 給与は他社に比較し妥当と思いますか

ア. 回答

(回答348人)

区 分	日系コロニア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
思 っ	13人	14%	10人	8%	29人	23%	52人	15%
普 通	28	30	42	32	59	47	129	37
思 わ	38	41	63	49	25	20	126	36
不 明	14	15	14	11	13	10	41	12
計	93	100	129	100	126	100	348	100

イ. 分析

前掲③の同社内比較に対し、本調査は他社との比較である。

他社と比較し、妥当と思うと答えたのは外国系が圧倒的に多いが、これは日系企業で技術を磨き高給を求めて、転職した者が多いのが原因であろう。

前回調査に比べ、日系進出企業で妥当と思わないという率が27%も低かった。

他社に比べ、低いと思う者は比較的新しく被伯した者に多い。

(5) 現在の仕事はあなたに適していると思いますか

ア. 回答

(回答355人)

区 分	日系コロニア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
思 っ	39人	42%	49人	37%	45人	35%	133人	37%
普 通	49	52	64	49	63	49	176	50
思 わ	6	6	19	14	21	16	46	13
計	94	100	132	100	129	100	355	100

イ. 分析

普通という判断の根拠が難しいが、適していないとする者は13%にとどまった。

適していないとする者は給与と同様在被伯年数の短い者に多く見られ、経験を積むに従って社内での配置転換、転職等によって是正されて行くことを示している。

(6) 現在の会社は完全な能力主義だと思いますか

ア. 回答

(回答343人)

区 分	日系コロニア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
思 っ	24人	27%	11人	9%	27人	22%	62人	18%
普 通	34	37	45	35	46	37	125	36
思 わ	33	36	72	56	51	41	156	46
計	91	100	128	100	124	100	343	100

イ. 分析

前回の調査に比べ、日系企業とくにコロニア企業において、能力主義と思うと回答した者の率が増えた。

日系コロニア企業において、能力主義と思う者と普通を合わせると64%となり、前回の56%を上回ったことは前掲②の仕事の満足度に関する調査と同様の傾向を示している。

(7) 転社希望の有無

ア. 回答

(回答329人)

区 分	日系コア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
有	48人	54%	69人	58%	64人	53%	181人	55%
無	41	46	50	42	57	47	148	45
計	89	100	119	100	121	100	329	100

イ. 分析

回答者中55%が転社を希望している。これは日系、外国系ともほぼ同率であるが、必ずしも切実な希望としてあげている訳でもなく“もし良かったら”“チャンスがあれば”といった軽い気持ちでの回答が多いと思われる。

転社希望の理由は前掲Ⅱ2の退社理由とほぼ一致する。

(8) 独立希望の有無

ア. 回答

(回答301人)

区 分	日系コア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
有	57人	68%	66人	60%	56人	52%	179人	59%
無	27	32	44	40	51	48	122	41
計	84	100	110	100	107	100	301	100

イ. 分析

工業技術移住者にとって独立自営ということは大きな魅力であるということが解る。

とくに日系企業に就労中の者にその希望が多い。

2. 技術および企業環境

今回は取種別でなく就労先別に集計した。

(1) 機械施設、工具等は日本と比較して進歩していると思いませんか

ア. 回答

(回答322人)

区 分	日系コア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
進歩している	3人	3%	1人	1%	5人	4%	9人	3%
同 程 度	24	28	37	30	53	47	114	35
遅れている	60	69	83	69	56	49	199	62
計	87	100	121	100	114	100	322	100

イ. 分析

外国系大企業に就労している者に、進歩している、あるいは同程度と回答した者の率が多かった。前回調査より遅れているとした率が若干減少している。

なお遅れている具体的な点として、次のようなものが代表的に挙げられている。

- 機械化そのもの全般
- 機械の自動・省力化
- 工具の不足・品質・精密性

- 規準(規格)化
- 品質工場レイアウト

しかし「専門分野によっては進んでいる」「優秀な外国メーカーが進出し進んでいる面がある」「全てアメリカ、イギリスの超一流品」という声もあり、一概に遅れていると断定するのは危険といえる。

(2) 生産管理,業務管理等は日本と比較して進歩していると思いませんか

ア. 回答

(回答310人)

区 分	日系コア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
進歩している	0人	0%	3人	3%	6人	5%	9人	3%
同 程 度	15	19	29	25	48	42	92	30
遅れている	65	81	84	72	60	53	209	67
計	80	100	116	100	114	100	310	100

1. 分 析

全体として進歩しているあるいは同程度と回答した者は約3分の1であったが、外国系企業はほぼ同数である。

遅れていると回答した者は外国系,進出,コアの順で多くなっている。

前回の調査と比べ遅れていると回答した者の数が減少している。

なお、遅れている主な例として次のようなものが多く挙げられる。

- 管理者に適任者が少ない
- 積み重ねた伝統がなく、責任感が薄い
- 特に工程管理が遅れている
- コスト,人間管理が遅れている
- 社内規格・設計技術情報不足
- 一方「進んでいる」として次のような意見もあり、伯国産業の二重構造を立証している。
 - 高度ではないが基本に忠実で円滑な管理
 - 組織が大きく進歩している
 - 専業化がはっきりしている
 - 進出企業は一流の管理をしている

(3) 職種転換の有無と結果

ア. 職種転換の有無と良否

イ. 回答

(回答279人)

回答グループ 項目	回答グループ									
	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	そ の 他	自 営	計	%	
有 る	良かった	4	53	2	10	5	5	1	80	75.5
	悪かった	1	0	0	0	1	1	0	3	2.8
	判らない	0	10	2	0	5	6	0	23	21.7
小 計	5	63	4	10	11	12	1	106	380	
無 い	8	88	31	17	23	3	3	173	620	
計	13	151	35	27	34	15	4	279	100	

(4) 分析

本事項に回答のあった数は279人、総回答者数の71.4%であった。

279人中職種転換の前歴のある者は106人38%あった。このうち75.5%に相当する80人が好結果を得たと回答している。転換後の職種は設計検査が圧倒的に多い、これはブラジル国において最も不足している職種とみなされること、また、日本人技術者が得意とすることから、将来性および給与の両面から満足した状態にあると思われる。

判らないと記入した23人については、職種転換後また日が浅く判断出来ない者とみなされる。

イ. 職種転換前後の職種名

(7) 回答

(回答106人)

転換前の職種 \ 転換後の職種	技師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機械仕上	その他	自営	計
技師	2	0	0	0	0	0	0	2
設計・検査	2	21	0	0	0	2	0	25
電気技能者	0	6	2	0	0	2	0	10
治工具・金型	0	3	0	1	0	1	0	5
機械仕上	1	33	2	9	11	7	1	64
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
自営	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	63	4	10	11	12	1	106

(4) 分析

集計の結果予想したとおり、設計検査部門への職種転換が特に目立った。

その中でも機械仕上部門からの転換者が33人に達している。

回答者106人のうち前職種が機械仕上というのが64人60%におよびこの中でも旋盤工、フライス盤工が大半を占めていることは一部を除き、これら職種の将来性に期待出来ないとも見られよう。

設計検査部門内での転換も多いが、これは生産管理関係への転換が目立つ。

ウ、職種転換の理由

(ア) 回答

(回答106人)

回答グループ 項目	技師	股計 検査	電気技 能者	治工具 金型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
社会による	1	13	0	1	4	3	0	22	20.8
給与に不満	0	18	1	6	1	0	0	26	24.5
将来性を 考慮して	0	10	0	1	2	4	1	18	17.0
経験をつみ 技術を広げる	1	9	2	0	0	1	0	13	12.2
何となく 自然に	2	2	0	0	0	3	0	6	5.7
本来の 職種に戻った	1	1	0	0	0	0	0	2	1.9
回答なし	1	10	1	2	4	1	0	19	17.9
計	5	63	4	10	11	12	1	106	100

(イ) 分析

職種転換の理由を回答しなかった者の中にも、給与と将来性を考慮した者も相当ある筈であり、好待遇を求め将来性を考えて転換した者は約半数あると思われる。

(4) 職種転換の希望

ア、希望の有無

(ア) 回答

(回答244人)

区 分	日系コロニア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
有	15人	25%	28人	33%	30人	31%	73人	30%
無	46	75	58	67	67	69	171	70
計	61	100	86	100	97	100	244	100

(イ) 分析

本質問に回答しなかった自営者を除く121人の意志が不明であるので、全体の希望が掌握出来ないが、希望有と答えた者の中にも“チャンスがあれば”という軽い気持ちで回答した者が多いと思われるので、積極的に職種転換を希望している率は低い。

1. 理 由

具体的に理由を記入した者は48人であった。

給与が低いため	22人
技術者として評価されないため	6人
現職種が合わないため	5人
将来性がないため	5人
仕事がおもしろくないため	4人
独立したいため	2人
人間関係	2人
外国系企業へ転社したいため	1人

管理業務をしたいため 1人
計 48人

上記の如く“給与が低いため”とする者が圧倒的に多い。

ウ. 転換したい職種名

具体的に職種名を記入した者は41人である。

設計関係 12人
技 師 10人
電子電気関係 5人
管理部門 3人
商 業 3人
土木建設関係 2人
航空機整備 1人
化学プラント 1人
医 師 1人
芸 術 家 1人
運 転 手 1人
農機具販売 1人
計 41人

エ. 職種転換に必要な条件とそれを満たすための問題点

条件について回答したものは6人に過ぎず、余り問題とされていないが「独学が充分に出来る職場」と回答した者が3人あった。

満たすための問題点についての回答は32人あったが、大半が工業大学の卒業資格とポルトガル語の語学力としている。その他時間、資金、勇気、企業の理解を問題点とした者が散見された。

(5) 現就労会社が工程改善、作業能率向上等に注意を払っている程度

ア. 回 答

(回答301人)

区 分	日系コロンビア企業		日系進出企業		外国系企業		計	
上	26人	34%	32人	29%	28人	24%	86人	29%
中	34	44	56	51	67	59	157	52
下	17	22	22	20	19	17	58	19
計	77	100	110	100	114	100	301	100

イ. 普通ないしく注意を払っていると回答した者の合計は80%となり、ほぼ前回と同様の率となった。

回答者の感覚により相当の差はあろうが、経営の合理化、近代化に努力が払われていると解釈して間違いないと思われる。

(6) 会社の工程、作業能率改善に参画した例があれば、その具体例を書いて下さい

参画したことがあると答えた者は77人あった。内容を見ると工場長、技師クラスと同格で企業の諸改善委員会にブレーンとして参画している者が多い。

具体例として挙げられたものは

工程管理製品改良 9件

仕事の分担, 専門化	6件
作業標準の作成	5件
自動化	4件
企業組織の改善	4件
新工場の設立	2件
社内規格の作成	2件

計32件である。

(7) あなたの職種について日本で修得しておいた方が良いと思う専門技術は何ですか

本質問の意味がはっきりと理解されず、“これから技術移住する場合修得しておいた方が良いと思われる職種”と解釈した者が多かった。

解答は151件あったが、最も多いのが、「設計製図の基礎」30件、「電気・電子」20件、「油(空)圧」14件、「ポ語あるいは英語の技術用語」12件が多く、その他「測定器の操作」「通信技術」「生産管理」等が多く見受けられた。

3. 生活

(1) 当国(ブラジル)に定住しますか

ア. 回答

(回答315人)

項目	回答グループ								計	%
	技師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機械仕上	その他	自営			
定住	14	140	42	28	41	11	17	293	93.0	
転住	0	3	2	2	2	0	0	9	2.9	
帰国	0	7	2	2	2	0	0	13	4.1	
小計	14	150	46	32	45	11	17	315	100.0	
回答なし	3	34	8	4	10	8	9	76	19.4	
合計	17	184	54	36	55	19	26	391		

イ. 分析

315人の回答者のうち、「定住」と回答した者は93%にあたり、これは、4項移住に関する感想の(1)移住してよかったと思いますか?の質問に対する回答の、「よかったと思う」と、「まだ解らない」と合わせたものと同率である。

(2) 結 婚

ア. 既婚者の配偶者

(イ) 回 答

(回答228人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	そ の 他	自 営	計	%
一 世	13	68	17	16	12	10	8	144	63.2
二 世	2	36	5	6	11	1	2	63	27.6
日 系 以 外	0	11	1	3	6	0	0	21	9.2
小 計	15	115	23	25	29	11	10	228	100.0
回 答 な し	1	8	1	1	3	0	11	25	9.9
合 計	16	123	24	26	32	11	21	253	

(i) 分 析

回答者228人中、一世を選んでいる者は、63.2%を占め、これに日系二世を選んでいる者の、27.6%を加算すると、90.8%の高率を示す。将来の伴侶は、相変わらず日本人(日系人を含む)を対象と考えていることを示している。

イ. 未婚者の結婚観について

(イ) 回 答

(回答104人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	そ の 他	自 営	計	%
日本から 呼びたい	0	10	4	1	1	2	0	18	17.3
当地で選ぶ	1	35	21	6	15	6	2	86	82.7
小 計	1	45	25	7	16	8	2	104	100.0
回 答 な し	0	16	5	3	7	0	3	34	24.6
合 計	1	61	30	10	23	8	5	138	

(i) 分 析

未婚者が将来の伴侶を選ぶ場合、あくまでも「日本から呼びたい」と回答している者は、わずか17.3%で、反対に「当地で選ぶ」と回答した者は、82.7%の高率を示している。これは、日本とブラジルの間の地理的・条件プラス生活根拠地に伴侶を選べるという条件があることを示している。換言すると、日系人形成社会が大型化、若年化していることを示すと思われる。

(3) 親しい友人

ア. 日系以外の親しい友人

(ウ) 回答

(回答 221人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
0 人	2	7	0	1	0	0	0	10	4.4
1 ~ 2 人	0	27	6	1	3	4	3	44	19.9
3 ~ 5 人	5	49	12	7	11	5	1	90	40.7
6 ~ 10 人	1	15	8	0	8	0	3	55	15.8
11 ~ 15 人	0	10	0	0	1	0	0	11	5.0
16 人以上	1	9	1	2	5	3	4	25	11.3
多 数	0	1	0	4	1	0	0	6	2.9
小 計	9	118	27	15	29	12	11	221	100.0
回 答 な し	8	66	27	21	26	7	15	170	43.5
合 計	17	184	54	36	55	19	26	391	

(イ) 分析

回答者 221 人のうち、日系以外の友人を 1 人以上もっている者は 95.6%、(3~5 人がピークを示し 40.7%) である。これは、たとえ日系の会社に勤めていても、ブラジル社会に融け込みつつあることを示している。

イ. 日系人の親しい友人

(ウ) 回答

(回答 272人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
0 人	1	4	0	0	0	0	1	6	2.2
1 ~ 2 人	0	11	1	3	1	4	1	21	7.7
3 ~ 5 人	7	52	15	2	12	1	1	90	33.0
6 ~ 10 人	3	26	10	6	14	4	2	65	23.9
11 ~ 15 人	1	14	2	0	5	1	1	24	8.8
16 人以上	1	26	8	6	2	5	6	54	20.0
多 数	0	6	1	4	0	1	0	12	4.4
小 計	13	139	37	21	34	16	12	272	100.0
回 答 な し	4	45	17	15	21	3	14	119	30.4
合 計	17	184	54	36	55	19	26	391	

(イ) 分析

質問が「親しい友人」と簡単であったため、受取り方により親友を意味するものから、軽い意味の友人まで、まちまちであったと思われる。回答者 272 人中友人 0 と回答した者が 6 人いるが、これは、友人の意味の捕え方が厳し過ぎた結果の回答と思われる。

(4) 1カ月の生活費

ア、未婚者の場合

(7) 回答

(回答 95人)

区 分	金 額 (CR\$)	%
住 宅 費	5 6 3	2 2.7
食 費	6 8 9	2 7.8
衣 料 費	1 6 5	6.7
交 通 費	2 4 2	9.8
医 療 費	1 1 5	4.6
教 養 娯 楽 費	3 4 2	1 3.8
雑 費	3 6 2	1 4.6
計	2, 4 7 8	1 0 0.0

イ、既婚者の場合

(7) 回答

(回答 138人)

区 分	金 額 (CR\$)	%
住 宅 費	9 8 7	2 2.1
食 費	1, 4 7 6	3 3.0
衣 料 費	3 5 1	7.8
交 通 費	4 0 4	9.0
医 療 費	2 1 7	4.8
教 養 娯 楽 費	4 9 0	1 0.9
雑 費	5 5 0	1 2.4
計	4, 4 7 5	1 0 0.0

(i) 分 析

未婚者と既婚者で大きく交るのは、食費にかける割合である。因みに、未婚者は27.8%で、既婚者は33.0%になっている。また、教養娯楽費にあてる支出は未婚者の方が若干(約3%)多い。

なお、当生活費統計は、36年度渡航組～49年度渡航組の平均であり、月収CR\$20,000クラス～CR\$3,000まで広範囲に亘っている。

(5) 子供の教育

ア. 回答

(回答139人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
完全なブラジル式	6	21	5	8	7	1	3	51	36.7
ブラジル式の他に 日本語教育も	6	34	6	5	16	4	7	78	56.1
日本語のみ	0	4	1	2	2	1	0	10	7.2
計	12	59	12	15	25	6	10	139	100.0

イ. 分析

子供の教育は、回答者139人中「ブラジル式の他に日本語教育も」と回答した者が56.1%ある。これは、前回の調査結果と大差はない。前回調査と大きく変わるのは「完全なブラジル式」に回答した者が、前回の11.7%から、今回は36.7%と増大している。

これは、子供の教育は現地にあわせてゆこうとする傾向が強いことを示す。反対に「日本語のみ」と回答した者が、3.5%から7.2%と激減している。これは、必要以上に日本語教育に執着しなくなっている傾向を示していると同時に、現地に適応融合してゆこうとする親の教育方針の現れであると推測される

(6) 家庭内での使用言葉

ア. 回答

(回答257人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
ブラジル語	1	16	3	4	8	1	1	34	13.2
できるだけ ブラジル語使用	1	7	5	3	1	0	0	17	6.6
日本語	6	74	14	14	14	8	7	137	53.3
できるだけ 日本語使用	7	31	3	8	13	3	4	69	26.9
小 計	15	128	25	29	36	12	12	257	100.0
回答なし	2	56	29	7	19	7	14	134	34.8
合 計	17	184	54	36	55	19	26	391	

イ. 分析

家庭内での使用言葉は、回答者257人中その53.3%が「日本語」と答えており、「できるだけ日本語使用」を合わせると80.2%になり、職種別、着伯年別においてもこの傾向は変わらない。従って家庭内での使用言葉は、日系社会に散見されるように、日本語を主とし、簡単なブラジル単語を混じえた、いわゆるコロニア風日本語となっている。

(7) 移住後ブラジル語習得方法

ア. 回答

(回答215人)

項目	回答グループ							計	%
	技師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機械仕上	その他	自営		
語学校に通学	7	50	9	11	12	9	2	100	46.5
家庭教師	1	16	1	0	1	0	0	19	8.8
独学	5	34	18	7	21	5	6	96	44.7
小計	13	100	28	18	34	14	8	215	100.0
回答なし	4	84	26	18	21	5	18	176	20.3
合計	17	184	54	36	55	19	26	391	

イ. 分析

回答者215人中「語学校に通学」「家庭教師」と回答した者は55.3%と約半分強を占めている。これは、前回の調査よりも少し増加している。「独学」の意味は、家で一人で勉強しているという以外に、職場内、ブラジル人との交際で語学学習をしているとする者が多いと思われる。

(8) 現在の語学程度

ア. 回答

(回答352人)

項目	回答グループ							計	%
	技師	設計検査	電気技能者	治工具金型	機械仕上	その他	自営		
仕事上不自由なし	8	78	18	21	27	6	6	164	46.6
新聞は読める	5	15	4	2	2	3	2	33	9.4
日常生活に不自由なし	3	60	21	11	18	7	5	125	35.5
日常生活にも困る	1	17	4	2	5	0	1	30	8.5
小計	17	170	47	36	52	16	14	352	100.0
回答なし	0	14	7	0	3	3	12	39	10.0
合計	17	184	54	36	55	19	26	391	

イ. 分析

「日常生活にも困る」と回答した者は8.5%で、前回調査時の約半分に減少している。この回答者は48年度渡航組、49年度渡航組に圧倒的に多く、着伯後年数が浅い故で、とくに心配するデータではないと思われる。

(9) 職場で語学に不自由しない程度になるのに要した年月

ア. 回答

(回答 255 人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
3 カ月以内	0	0	1	0	0	0	0	1	0.4
6 カ月程度	2	5	1	0	0	0	1	9	3.5
1 年 程 度	1	15	8	1	2	1	1	29	11.4
2 年 程 度	3	24	1	5	7	1	1	42	16.5
2 年 以 上	8	75	22	24	27	9	9	174	68.2
小 計	14	119	33	30	36	11	12	255	100.0
回 答 な し	3	65	21	6	19	8	14	136	34.8
合 計	17	184	54	36	55	19	26	391	

イ. 分析

「2年程度」および「2年以上」と回答した者が、回答者中84.7%を占めている。大体渡伯後3年位みれば、工作上不自由しない語学能力が備わることを示している。前回調査結果とほぼ同率である。

(10) 副収入の有無

ア. 回答

(回答 331 人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
有	4	28	8	3	8	2	3	56	16.9
無	10	138	38	31	38	12	8	275	83.1
小 計	14	166	46	34	46	14	11	331	100.0
回 答 な し	3	18	8	2	9	5	15	60	15.3
合 計	17	184	54	36	55	19	26	391	

イ. 分析

副収入有と答えた者は、渡伯後3～4年位の者に多く、仕事の内容は自己の技術を生かしたアルバイトと推測される。渡伯後すぐは、現地に慣れ、仕事を覚えることで精一杯であり、渡伯後かなりの年数が経た者は収入も安定し、アルバイトをする必要がなくなっていると推測される。

(11) 就労、生活上とくに必要とするブラジル国法令

ア. 回答

項 目	回 答 数	項 目	回 答 数
労働法, 社会保障法	43	商 法	3
税 法	1	会 社 法	1
民 法	4	そ の 他	2

1. 分析

質問形式が書き込み式であった為、未回答の者が殆どであった。

最も多く回答のあったのは、労働法、社会保障法であり、これは、働く者の立場にある工業技術移住者として妥当の結果と思われる。

4. 移住に関する感想

(1) 移住してよかったですか

ア. 回答

(イ) 移住してよかったですか

(回答 359人)

回答グループ 項目	技師	設計 検査	電気技 能者	治工具 金型	機械 仕上	その他	自営	計	%
思う	12	110	31	22	34	15	16	240	66.9
不明	5	53	17	10	16	3	0	104	28.9
思わない	0	9	3	2	1	0	0	15	4.2
計	17	172	51	34	51	18	16	359	100.0
回答なし	0	12	3	2	4	1	10	32	8.1

(ロ) その理由は何ですか

よかったと思う理由	不明の理由	よかったと思わない理由
自由で生活し易い 49	またわからない 36	モラルかない 3
能力が生かせる 30	比較の対象なし 4	サラリーマンとして変わらぬ 2
視野拡大・体験 18	いずこも同じ 1	生活下降 1
将来性がある 14	将来が不明確 1	回答なし 9
独立が可能 3	回答なし 62	
わからない 9		
回答なし 117		

イ. 分析

前回の調査結果と比較して、調査回答者が大巾に増えた(約80%増)が、内容は前回と大差なく、調査時「不明」と回答した者(21.6%)の動向にもよるが、大部分が「良かった」としているといえる。

ただし、その理由として「将来性がある」「独立が可能」とした者は、各々下位に属している点留意を要する。

これは、近年加齢度的にブラジルの経済社会は進歩しており、これが以前に比して「独立」を困難とする要因となっていることを反映していると云える。

一方「よかったと思わない」と回答した者の中に「設計検査」に属する者の率が高いが、これは日本での学歴(大学)が正式に評価されないことから生じる挫折感が、この層の移住者に少なくないことの一証左と思われる。

(2) ブラジル国について期待していたのとうですか

ア. 回答

(7) ブラジル国について期待していたのとうですか

(回答 304人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電気技 能 者	治工具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
予想以上によい	3	21	4	5	8	1	4	46	15.1
予 思 通 り	10	88	30	19	26	12	8	193	63.5
予 想 以 下	1	30	11	7	9	2	2	65	21.4
計	17	139	45	31	43	15	14	304	100.0
回 答 な し	0	45	9	5	12	4	12	87	22.2

(1) 将来をどう思いますか

(回答 302人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電気技 能 者	治工具 金 型	機 械 仕 上	その他	自 営	計	%
有 望	12	133	35	30	38	14	14	276	91.4
有 望 で な い	2	15	5	1	2	0	0	25	8.3
そ の 他	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3
計	14	149	40	31	40	14	14	302	100.0
回 答 な し	3	35	14	5	15	5	12	89	22.8

イ. 分 析

「予想どおり」および「予想以上によい」とした者の合計は、80%に近い高率を占めており、大勢としては、現地の事情をかなり堅実に把握して移住していることを、うかがい知ることができる。

一方「予想以下」と回答した者も、20%に達するが「将来をどう思うか」の設問では、「有望でない」とした者は、わずか回答者の中10%弱であり、これは大部分の移住者が、今後に期待を抱いていることを裏付けているものといえる。

ただし、前記「移住してよかったですか」の項で分析した如く“独立の可能性の減少”や“学歴のハンディ”（ブラジル国大学の認可を受けないと技師としての正式な取扱いを受けられない）により、将来の方針に不安を抱いている者が、一部にいたることを忘れるべきでないと思われる。

(3) ブラジル人の性格をどう思いますか

ア. 回答

肯定 的		否 定 的	そ の 他		
明 朗	96	利 己 的	37	一 概 に 断 定 で き ず	18
親 切	32	無 責 任	35	そ の 他	34
社 交 的	22	単 純 ・ 軽 率	28		
バイタリティーあり	2	道 徳 感 稀 薄	26		
		怠 惰 ・ 意 欲 不 足	13		
		形 式 的	13		
		感 情 的	11		

イ. 分析

100余の人種から成るブラジル人を、端的に表現することは至難で、ある意味で“一概にいない”とするのが正しい。それにしても、上表は主要な要素をいくつかしていると思われるが、これを一表現で表わすとすれば、楽天的な特性(利点)を有するが故に、とかく道徳や責任観念に欠け且つ怠惰、皮相になりやすい国民性といえるであろう。

(4) ブラジルで取りたいと思っている技能資格、または学歴は何ですか

ア. 回答

正規の学校による資格・学歴		そ の 他	
Engenheiro の資格	44	自動車運転免許	1
大学卒業の資格	57	設計・製図に関して	1
高等学校卒業の資格	6	その他各種の免許	5
Tecnico の資格	6	必要なし	4
会計士の資格	4		

イ. 分析

何といっても近年の工業技術移住者の念願は、日本での学歴をいかに認可を受けるかにある。即ち“CREA”の略称で知られる“技師”等のいわば、利益保護機関に、いかに登録しうるかが最大の関心事であり、上表の“大学卒業の資格”“Engenheiro の資格”はいかに、その関心が深いかを示すものである。

(5) 移住後ブラジルの教育を受けたことがありますか

ア. 回答

(ウ) 移住後ブラジルの教育を受けたことがありますか

(回答319人)

回答グループ 項目	技 師	設 計 検 査	電 気 技 能 者	治 工 具 金 型	機 械 仕 上	そ の 他	自 営	計	%
有	10	88	13	14	18	6	5	154	483
無	5	76	21	18	23	11	11	165	517
計	15	164	34	32	41	17	16	319	1000
回答なし	2	20	20	4	14	2	10	72	184

(4) あればその種類

種 類	人 数	種 類	人 数
小 学 校	6 4	英 語 学 校	4
中 学 校	4 2	ポ 語 学 校	1 7
高 等 学 校	5	自 動 車 教 習 所	1
工 業 専 門 学 校	7	そ の 他 の 教 習 所	8
大 学 予 備 校	2	回 答 な し	2
大 学	2	(有りと答えて)	

イ. 分 析

「有り」と回答した者は、設問回答者の約半数で、これらの移住者が何らかの教育・教習を受けていることになるが、ほとんどが初等教育、およびポ語学校である。

前記4)の設問に対し、多くの者が大学卒(とりもなみならず技師)の資格を取得したいとしているが、残念ながら本設問の回答からは、それがなかなか難しいことがうかがえる。

(6) 後続工業技術移住者に対するアドバイス

ア. 回 答

しっかりした技術を身につけてくること	7 9 人
ことばをはやく覚えること	6 9 人
現地の事情をよく把握してくる	2 8 人
協調性・適応性・順応性・柔軟性	1 6 人
努力・勉強・まじめな態度	1 5 人
永住の覚悟で渡伯すること	1 3 人
現実をみつめ、着実な生活態度	1 2 人
自分の工具・専門参考書はもってくる	1 1 人
健康第一を心がけること	1 0 人
英語をマスターしてくる	6 人
資金を持ってくる	5 人
無理に移住しない	4 人
出来るだけ若いうちに移住してくる	3 人
ブラジルの実状に適した職種をもってくる	3 人
趣味を身につけてくる	3 人
サラリーだけを目当にするな	2 人
独立をめざすこと	2 人
どこでも同じ	2 人
移住すべきでない	1 人
特になし	1 人
回答なし	1 0 6 人

イ. 分 析

“しっかりした技術を身につけてくる”および“ことばをはやく覚える”が圧倒的に多いが、これらは“当然”のことであるが故に、殊更忘れられ勝ちなのが実情である。

現在では、欧米先進国および日本の主要企業がブラジルに進出し、各々自国から技術を導入しているため、部門によっては、日本のものより進んだ技術があり、新興国との意識から安易な気持ちで移住することは禁物である。

また、官民は精力的に教育を振興しており、その成果は著しくブラジル人の教育一般および、職業訓練のレベルアップは目覚ましいものがある。

これらの状況から単能工、更には技能者のレベルの場合でも経験、技術が不足している者については、往時に比し呼寄企業からの求人が激減している実態があり“しっかりした技術”をもって、移住する必要性を改めて想起する費がある。

一方“ことば”の問題も前記“技術”の問題と関連性がある

すなわち、今後の工業技術移住者は、高度の技術レベルにある者が望まれるが、これらの技術者は下位従業員に対する指示、指導および所轄業務の計画立案、遂行の業務で他の技術者と打合せ、討論する機会が多く、必然的にポルトガル語の重要性が高まることになる。

もとより“ことば”の修得は一朝一夕では成し遂げ得ぬものであるが、日進月歩の努力を続け、“ことば”のハンディを克服している先輩移住者も少くない。

今後、移住する者としては、移住後はもとより移住以前においても、ポルトガル語を学習する着実な心構えが望まれる。

5. 独立自営者についてのアンケート

(1) 独立の動機はなんですか

調査対象者26人中、本問に回答している独立自営者は15人であった。

その内容は次のとおりである。

移住当初からの願望であった	6人
自己の能力を試すため	3人
良き収入をめざして	2人
都会生活から離れるため	1人
技術を提供することで共同経営者となれたため	1人
小資本で独立ができたため	1人
サラリーマン生活が嫌いとなったため	1人

“移住当初からの願望であった”と直接的に回答した者が多いこと、また、他の回答をした者も、機会があれば、独立する願望をもって移住したことは想像に難くないことから、工業技術移住者の最終的願望が「独立」にあることは真実のようであり、たゞ、実現の困難性に直面し、その願望が薄められているのが一般的な現状である。

(2) 独立自営のための所要資金はどのように調達しましたか

回答者は17人で、その結果は、次のとおり。

貯蓄	7人
携行資金	2人
借入	3人
共同出資	3人
資金不要	2人

“貯蓄”と回答した者は — サラリーマンの時から少しずつ給料を貯蓄した

- 製図をしながら貯蓄した
- アルバイトにより貯蓄した
- Letra de Cambio にして貯蓄した
- 退職金を貯蓄した

等の貯蓄状況を記している。

“借入”と回答した者は

- 事業団融資
- 銀行融資
- 個人的な融資

を利用しているが、事業団融資は農業への転職独立者の場合である。

“共同出資”は、株主となる者、仲間を見つけ資金を出しあった者のケースである。

“資金不要”の者は、技術の提供により資金参加の必要なく、共同経営者となったものである。

(3) 独立のための準備期間はどの位要しましたか

16人の回答の内訳は次のとおりである。

3カ月未満	3人
1年6カ月位	3人
2年6カ月位	2人
3年位	4人
5年以上	4人

(4) 経営が一応の軌道に乗るまでにどの位の期間を要しましたか

回答者15人は次のような期間を要している。

6カ月	2人
1年～2年	3人
3年	6人
4年以上	2人

この他「現在も努力中」と回答したものが2人いるが、本調査では「3年の期間」がもっとも多いことになっている。これに、更に、短期の者を加えると11人となり、軌道に乗せる迄の期間は一応3年と見るのが適當のようである。

(5) 取引先はどのように開拓しましたか

回答があった16人は大別して次のように区分される。

友人・知人の紹介	5人
自分で開拓	6人
行なっていない	4人
外交従業員	1人

“行なっていない”と回答した者はその理由として

- 自然に顧客から顧客に伝わった
- 関係先の企業が紹介してくれた

等を挙げている。

(6) 経営上困難な問題は何か

回答者は14人で、その内容は次のとおりである。

“資金繰り”に悩んでいる例が一番多いが、精一杯の資金でやり繰りしている自営移住者の苦悩がうかがえる。

資金繰り	5人
官 葉	2人
技術者不足	2人
法 令	1人
材 料 不 足	1人
イ ン フ レ	1人
部 品 あ つ め	1人
人 間 関 係	1人

(7) 従業員の採用方法

回答者22人の内訳は次のとおり。

知人の紹介	3人
直接求職	13人
新聞広告	6人

なお、今後、「工業技術移住者を採用する希望はありますか」については下記のとおり回答があった。

あ り	8人
な し	4人

“あり”と回答した者が多いが、実際の採用となると、一般的には、待遇条件の点で、問題があると思われる。ただし、移住希望者との間に、充分意志疎通がなされている場合には、問題は少なくなるとと思われる。

(8) 経営上の抱負

回答のあった事項を以下列記する。

- 設備・機械の自動化(省力化)
- 良い従業員の定着
- 事業計画の拡張
- 背のびせず着実に
- 多角経営したい
- 軌道にのせて設備を増やす
- 土地の購入

(9) 今後独立自営しようとする工業技術移住者へのアドバイス

下記に列挙するが、すべて経験に基づいたアドバイスとして、後輩移住者が銘記すべきである。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| - まじめに仕事すること | - 十分な資金で始めること |
| - 独立の場合、その時機を良く見極めること | - 特殊な技術、又は高度な技術をもって |
| - 不言実行 | - 独立することが望しい |
| - ブラジル人と駆け合うこと | - 誠 実 |
| - 良き友をもつこと | |

以上の他に、“資金は多く用意すべき”“自己資金だけの独立は失敗する”など、資金不足から、経営に悩んでいる独立移住者の意見もあり、「ブラジル」ということで、安易に「独立」を考えることを戒めしめるべきことを教えている。

附表1 就労企業一覧表（日系コロニア企業）

会社所在地	会社名	会社名	業	種	回答枚数
1 São Paulo	モトラジオ商工	MOTORADIO S.A. Comercial e Industrial.	カーラジオ, ポータブルラジオ		10
2 São Paulo	エレットロ プラット	Eleiro PLANET LTDA.	電気通信工事		9
3 Diadema	中川商工	NAKATA S.A. Indústria e Comércio	自動車部品		8
4 Hobbí	ケニスイプラスチック商工	SANSUY S.A. Indústria de Plásticos	ビニールナース, ビニール食器, タンク		7
5 São Paulo	ガラス・プラスチック商工	GLASSLITE Indústria de Plásticos LTDA.	プラスチック製品		6
6 São Paulo	カニール電気	SANNY LTDA. Elétrica e Eletrônica	電気設備工事		5
7 São Paulo	フジメック機械工業	FUJIMEC Indústria Metalúrgica LTDA.	機械部品		4
8 São Paulo	シントロウイズ(機械工業)	Metalúrgica SINRONALZU LTDA.	電話, 電気, 通信工事		4
9 São Paulo	ダンププラズ	DENPARRAS Sociedade Técnica e Eléiro Comunicações LTDA	分電盤, 自動制御機, 配電盤		3
10 São Paulo	エレノイ工業	ELEMEK Indústria Eléiro Mecânica LTDA.	生産機械, 設計製作		3
11 São Caetano do Sul	大東工業	DAITO Engenharia LTDA.	輸出入業		3
12 São Paulo	ブラスインペーン商会	BRASOCIAN Importação e Exportação LTDA.	建設工事一般		3
13 São Paulo	ポラノ建設	Construtora PORÃ LTDA.	各種電気コイル		2
14 São Paulo	山崎電才	Eleiro YAMAZAKI LTDA.	生産機械		2
15 Baurão	ブラ新製木	Fiação de Seda BRATAC S.A.	ラジオ, TV修理		2
16 São Paulo	池田機械製作所	IKEMORI S.A. Indústria e Comércio de Máquinas.	大型鋼造用木型 金型		2
17 São Paulo	大石電機	MITSUTOSHI OISHI & Companhia LTDA.	製場用品		2
18 Itaquai(Rio de Janeiro)	南米精造	Fundição Técnica SUL AMERICANA LTDA.	各種電機		2
19 Arujá	フアチラ商工	FATEC Química Industrial S.A.	各種電機		2
20 Campinas	東山電機	MONTE DESTE Indústria e Comércio de Materiais Eléitricos LTDA.	各種電機		1
21 São Paulo	フレックス電気	FUJIBRAS Instalações Industriais LTDA.	各種電機		1
22 São Paulo	ブラズメック機械工業	BRASMECA- Brasil Equipamentos Mecânicos LTDA	各種電機		1
23 São Paulo	ポリスピンドル	POLISPIN Indústria e Comércio S.A.	各種電機		1
24 Bom Sucesso	サドケン電気工業	Indústria de Lâmpadas SADOKIN S.A.	各種電機		1
25 Rio de Janeiro	リヤチック	RIOTEC Eléiro Mecânico Indústria e Comércio LTDA	各種電機		1
26 São Paulo	南米銀行	Banco AMERICA DO SUL S.A.	各種電機		1
27 São Paulo	三友機械	SANYU Corretagem de Seguros LTDA	各種電機		1
28 São Paulo	ニッセイ商工	NISSSEI S.A. Indústria e Comércio	各種電機		1
29 São Bernardo do Campo	大久保工業	Indústria Mecânica OKUBO LTDA.	各種電機		1
30 Osasco	ダイナシオン電気	DAINAN Indústria Eletrônica LTDA.	各種電機		1
31 São Paulo	ジャパックス	Eleiro Erosão JAPAX Indústria e Comércio LTDA	各種電機		1
32 São Paulo	コチア農園	Cooperativa Agrícola de COTIA-Cooperativa Central	各種電機		1
33 São Paulo	アグロニッポ商会	AGRO-NIPPO Alimentício LTDA.	各種電機		1
34 São Paulo	アグロニッポ新聞社	JORNAL PAULISTA LTDA.	各種電機		1
35 São Paulo	フェニックス写真	FENIX Foto Arte LTDA.	各種電機		1
36 São Paulo	金子工業	Metalúrgica KANEKO LTDA	各種電機		1
計					98人

附表2 就 勞 企 業 一 覽 表 (日 系 進 出 企 業)

社 名	社 址	社 名	社 址	業 務	員 数
1	Varginha(Minas Gerais)	ブラジル機器株式会社	Companhia Brasileira de Caldeiras Equipamentos Pesados	各種ボイラー、化学プラント	17
2	Mogi das Cruzes	豊和工業	HOVA do Brasil S. A. Indústria Merbáica	自動車機	14
3	Mogi das Cruzes	ブラジル特殊鋼業(NGK)センター	N. G. K. do Brasil S. A. Cerâmica e Vela de Ignição	点火プラグ、タイパ	14
4	Indaiatuba	チルマ通機工業	YANMAR do Brasil S. A.	ディーゼルエンジン、耕耘機	7
5	Taubaté	ノイック電気	DARUMA Telecomunicações do Brasil Indústria e Comércio LTDA	通信機	7
6	São Paulo	日本牧場	JATIC Instalações Industriais e Equipamentos Eléctricos LTDA	電気空調、配管工事一般	7
7	Cafesova	小松製作所	J. S. T. Estrutura Metálica LTDA	送電用鉄塔	6
8	Suzano	ブラジル丸	KOMATSU do Brasil Indústria e Comércio LTDA	ブルドーザー	4
9	São Paulo	三打電気	SANKYU do Brasil Construtora Indústria e Comércio LTDA.	建築、機械装置	4
10	São Paulo	カピタルマツト電気	Indústria Eletrônica SANYO do Brasil LTDA	電気部品	4
11	São Paulo	伊田工業	BOVIEL YAMATOW S. A. Engenharia e Instalações	電気工事一般	4
12	Guarulhos	前田倉庫	RATSUTA do Brasil S. A.	動力機械、ポンプ	3
13	Diadema	松下電器	MAYERKAWA do Brasil Refrigeração LTDA	冷凍用冷凍機	3
14	São José dos Campos	電	MATSUSHITA Electric Brasileira Indústria e Comércio LTDA.	電気機、ファン、モーター、カメラ、レ	3
15	São Paulo	ノムエトロン+	TOSHIBA do Brasil S. A.	電気機、電圧器	2
16	São Paulo	トヨタ自動車	SONY-MOTORADIO Comércio Importação e Exportação LTDA.	ラジオ、テレビ、オーディオ機器	2
17	São Bernardo do Campo	久保田鉄工	TOYOTA do Brasil S. A. Indústria e Comércio	自動車、機械部品	2
18	Diadema	入社機業	KUBOTA TEKKO do Brasil Indústria e Comércio LTDA	自動車、農業機械	2
19	Santos	クラウン紡織	Companhia de Peças TAIYO	自動車部品	2
20	São Paulo	ブラジルカウベセルファ	Indústria Eletrônica KANDA LTDA.	電子部品	2
21	Ponta Grossa(Paraná)	前田有限	Controleficio KURASHIKI do Brasil S. A.	機械	2
22	São Paulo	ホビエル協和	NACIONAL do Brasil Comércio S. A.	ラジオ、テレビ、オーディオ機器	2
23	São Paulo	中田トキコ商工	SUPERFINE Mécão Peças Indústria Geral LTDA	自動車部品	2
24	São Paulo	バイヨー電気	BOVIEL-KYOWA Construções Telefônicas LTDA	電気工事一般	1
25	Diadema	カフロン倉庫	NAKATA-TORIKO S. A. Indústria e Comércio	自動車部品	1
26	São Paulo	ブラジル丸	P. L. I. do Brasil Indústria e Comércio LTDA	自動車部品	1
27	Salvador(Bahia)	東京銀行	SARON-TELJIN S. A. Indústria Brasileira de Fibras	繊維	1
28	Americana	中央銀行	TOYORO do Brasil S. A. Fiação e Tecelagem	繊維	1
29	São Paulo	石川銀行	MARUBENI Brasil S. A.	輸出入業	1
30	São Paulo	石川銀行	Banco de Tokyo S. A.	銀行	1
31	Rio de Janeiro	日本電気	Banco de Tokyo S. A.	銀行	1
32	Rio de Janeiro	アトラントカ度取工業	ISHIKAWAJIMA do Brasil Estaleiros S. A. "ISHIBRAS"	造船	1
33	Guarulhos	井配料	NEC do Brasil Eletrônica e Comunicações LTDA	電気通信機、無線機	1
34	Guarulhos	トリキ通商	Indústria de Couros ATLANTICA S. A.	皮革	1
35	São Paulo	ウジ、トク、ノ	Fertilizantes MITSUI S. A. Indústria e Comércio	電気通信機、無線機	1
36	São Paulo	イパtinga(Minas Gerais)	Sociedade Comercial TOYOTA TSUSHO do Brasil	輸出入業	1
37	Petrópolis(Rio de Janeiro)	クワザピラ	Usinas Siderúrgicas de Minas Gerais S. A. - USIMINAS	輸出入業	1
38	Petrópolis(Rio de Janeiro)	クワザピラ	ATA Combustão Técnica S. A.	燃料	1
39	Quararapira	クワザピラ	Óleo "MENU" Indústria e Comércio LTDA	燃料	1
計					130人

附表3 統 勞 企 業 一 覽 表 (外 國 系 企 業)

行 号	企 社 名 称	所 在 地 点	企 业 名 称	主 要 生 产 品 种 类	特 种 技 术 数
1	Hilbert Pires	Ilhéus	CONSTANTA	CONSTANTA Eletrotécnico S. A.	10
2	São Bernardo do Campo		V. W.	FOLKSWAGEN do Brasil S. A. Fabrica I	9
3	São Paulo		FORD	FORD Motor do Brasil S. A.	6
4	Osasco		ADDAER	Empresa Brasileira de Aeronautica S. A.	5
5	São José dos Campos		BRONN BOVPHI	BRONN BOVPHI Industria Elétrica	1
6	São Carlos		S. N. N.	FIEMAL, MOTORS do Brasil S. A.	1
7	Mogi das Cruzes		SILVENS	SILVENS S. A.	1
8	São Paulo		WALITA	WALITA S. A. Eletro Industria	1
9	São Paulo		BADELIA	BADELIA S. A. Industria Mecânica	1
10	São Bernardo do Campo		T. N. S. E.	TERMO MECANICA S. A. São Paulo S. A.	1
11	São José do Rio Preto		WAPSA	Empresa Brasileira de Solda Elétrica	1
12	São Paulo		CATERPILLAR	WAPSA Auto. Peças S. A.	1
13	São Paulo		SEMAR	CATERPILLAR Brasil S. A.	1
14	São Paulo		G. M.	Controler Automáticos SEMAR S. A.	1
15	São José do Campo		OLIVETTI	GENERAL MOTORS do Brasil S. A.	1
16	Guarulhos		BRASINCA	BRASINCA S. A. Ferramentaria Carrocerias Veículos	1
17	São Carlos do Sul		CHRYSLER	CHRYSLER Corporaition do Brasil S. A.	1
18	São Bernardo do Campo		MECANICA PESADA	L. P. W. Equipamentos LTDA	1
19	Taubaté		L. P. W.	VOLKSWAGEN do Brasil S. A. Fabrica II	1
20	São Paulo		DEDINI	Metalurgica DEDINI S. A.	1
21	São Paulo		BRASSINTER	BRASSINTER S. A. Industria e Comércio	1
22	São Paulo		EVADIN	EVADIN Industria e Comercio LTDA.	1
23	Piracicaba		S. P.	STANDARD ELETRICA S. A.	1
24	São Paulo		VALMET	VALMET do Brasil S. A. Industria e Comércio de Tratores	1
25	Rio de Janeiro		BRASITALIA	Metalurgica BRASITALIA LTDA	1
26	Mogi das Cruzes		PYRO	PYRO Tratamento Térmico LTDA	1
27	Diadema		WHEELABRATOR	WHEELABRATOR do Brasil S. A.	1
28	São Paulo		INTRAL	INTRAL S. A. Industria de Máquinas, Elétricos e Elevadores S. U. R. S. A. Industria e Comércio	1
29	São Paulo		S. U. R.	Elevadores S. U. R. S. A. Industria e Comércio	1
30	São Paulo		SOHENAL	Sociedade Brasileira Engenharia Industrial LTDA	1
31	São Paulo		FUNDIBEM	Produtor para Fundição Engenharia Industrial LTDA	1
32	São Paulo		COFAP	COFAP Companhia Fabrica de Peças	1
33	Porto Alegre (RS)		NOHDON	NOHDON Industrias Metalurgicas S. A.	1
34	Porto Alegre (RS)		ASEA	ASEA Elétrica S. A.	1
35	Diadema		ISAM	ISAM-ELMA S. A. Industria e Comercio	1
36	São Paulo		CORRAPI	Companhia Brasileira de Projetos Industriais	1
37	São Paulo		S. P.	ZETA do Brasil S. A. Industriais S. A.	1
38	São Paulo		SHITAL	SHITAL Instalações Térmicas LTDA	1
39	São Paulo		VILLARES	VILLARES S. A.	1
40	São Paulo		FORD	FORD Motor do Brasil S. A.	1
41	São Paulo		ARTEER	Industria ARTEER S. A.	1
42	São Paulo		AR D'ELIA	AR D'ELIA Equipamentos Pneumáticos LTDA	1
43	São Paulo		ELACTRO ALLOY	ELACTRO ALLOY Industria e Comercio LTDA	1
44	São Paulo		ERNESTO	ERNESTO Equipamentos Industriais LTDA	1
45	São Paulo		DIMENSIONAL	DIMENSIONAL Engenharia de Dimensões LTDA	1
46	São Paulo		VOLTH	VOLTH S. A. Máquinas e Equipamentos	1
47	São Paulo		FANEM	FANEM LTDA Fabrica de Aparatos Nacionais de Eletromedica	1
48	São Paulo		WESTINGHOUSE	WESTINGHOUSE Comercio Industria e Servicos LTDA	1
49	São Paulo		ENCO	Equipamentos Industriais ENCO ZOLKSAK S. A.	1
50	São Paulo		MAPRI	BRAZACO-MAPRI Industrias Metalurgicas S. A.	1
51	São Paulo				1
52	São Paulo				1
53	São Paulo				1
54	São Paulo				1
55	São Paulo				1
56	São Paulo				1

社 名	所 在 地	合 社 名	社 名	業 務	員 数
57	Santo André	G. E.	GENERAL ELÉTRICA do Brasil S. A.	電気電気製品	1
58	São Paulo	HILTEK	HITER Indústria e Comércio de Controles Termo Hidráulicos	計測機器	1
59	Valinhos	CLARK	HITER Equipamentos S. A.	計測機器	1
60	Campanha	KLEBER	KLEBER Caldeiraria e Montagens Indústria LTDA.	各種ボイラー	1
61	São Paulo	TELEQUIPO	TELEQUIPO Telefones Equipamentos LTDA.	各種電話機	1
62	São Paulo	BURNAT	BURNAT Produtos Plásticos e Metalúrgicos LTDA	プラスチック製品	1
63	Rio de Janeiro	SPERRYRAND	SPERRYRAND do Brasil S. A. - Divisão Vickers	油圧ポンプ	1
64	São Paulo	CYANAMID	CYANAMID Química do Brasil LTDA	石油化学製品	1
65	São Paulo	MONTEAL	MONTEAL Engenharia S. A.	工場プラント設計	1
66	São Paulo	USNOLD	USNOLD e Modelação USNOLD LTDA	機械製品製造	1
67	São Paulo	M. BENZ	MERCEDIS-BENZ do Brasil S. A.	乗用車	1
68	São Paulo	U. S. P.	Universidade de São Paulo	文字	1
69	São Paulo	A. STEFANO	Escritório Técnico Armando Stefano Colotto	大規模設計事務所	1
70	São Paulo	VITON	Vitros VITON LTDA.	ガラス	1
71	Diadema	NORMA	Fábrica Norma Indústria e Comércio LTDA	各種ガラス	1
72	São Bernardo do Campo	FORD	FORD-Centro de Pesquisa	各種ガラス	1
73	São Paulo	SUPRENS	Abracadura SUPRENS LTDA	乗用車	1
74	São Bernardo do Campo	VILLARES	Indústria VILLARES S. A.	各種ガラス	1
75	São Paulo	AR FRIO	AR FRIO Refrigeração S. A.	冷凍機	1
76	Salvador (Bahia)	CEQUINE	CEQUINE Companhia Química	エレベーター	1
77	Santo André	HAEMAR	HAEMAR S. A.	各種化学	1
78	São Paulo	HAEMAR	HAEMAR Fiação Engenharia LTDA	繊維製品	1
計					133人

附表4. 自営企業一覽表 (共同経営者を含む)

社 名	所 在 地	合 社 名	社 名	業 務	員 数
1	São Paulo	Indústria Mecânica ORITA	Indústria Mecânica ORITA	機械製品	1
2	São Paulo	Metalúrgica SINNONAI70 LTDA.	Metalúrgica SINNONAI70 LTDA.	機械製品	1
3	São Paulo	NISSEI S. A. Indústria e Comércio	NISSEI S. A. Indústria e Comércio	機械製品	1
4	São Paulo	ALTEX Eletroica LTDA	ALTEX Eletroica LTDA	電気機器	1
5	São Paulo	DAITEI Indústria e Metalúrgica LTDA	DAITEI Indústria e Metalúrgica LTDA	機械製品	1
6	Manaus (Amazonas)	INCOTOKYO-Indústria e Comércio TOKYO LTDA	INCOTOKYO-Indústria e Comércio TOKYO LTDA	機械製品	1
7	São Bernardo do Campo	Mercenaria YASSUDA	Mercenaria YASSUDA	機械製品	1
8	São Paulo	Eletrônica HANAI	Eletrônica HANAI	電気機器	1
9	São Paulo	Indústria Eletrônica CHERRY S. A.	Indústria Eletrônica CHERRY S. A.	電気機器	1
10	São Paulo	BRASMECA-Brasil Equipamentos Mecânicos LTDA	BRASMECA-Brasil Equipamentos Mecânicos LTDA	機械製品	1
11	São Paulo	SANKI-Comércio e Projeto de Máquinas LTDA	SANKI-Comércio e Projeto de Máquinas LTDA	機械製品	1
12	Santos	Eletrônica BAHIA	Eletrônica BAHIA	電気機器	1
13	São Paulo	T. V. Radio Comercio YAMA	T. V. Radio Comercio YAMA	電気機器	1
14	São Paulo	Mercenaria KURAMOTO	Mercenaria KURAMOTO	機械製品	1
15	São Paulo	SAUNY LTDA. Elétrica e Eletrônica	SAUNY LTDA. Elétrica e Eletrônica	電気機器	1
16	São Paulo	Auto Mecânica SOL NASCENTE	Auto Mecânica SOL NASCENTE	機械製品	1
17	Santo André	LOJA AKO LTDA.	LOJA AKO LTDA.	機械製品	1
18	Osasco	FRP Engenharia Indústria e Comércio LTDA	FRP Engenharia Indústria e Comércio LTDA	機械製品	1
19	São Paulo	FPP Film Documentary Produções Cinematográficas LTDA	FPP Film Documentary Produções Cinematográficas LTDA	映画	1
20	Diadema	SEIHO-Indústria de Condições LTDA	SEIHO-Indústria de Condições LTDA	機械製品	1
21	Osasco	DAINAN Indústria Eletrônica LTDA	DAINAN Indústria Eletrônica LTDA	電気機器	1
22	São Paulo	PROJETHEMO Instalações Industriais LTDA	PROJETHEMO Instalações Industriais LTDA	機械製品	1
23	São Paulo	NESP-NIPPON Equipamentos Especialia LTDA	NESP-NIPPON Equipamentos Especialia LTDA	機械製品	1
24	São Bernardo do Campo	Fundição FIREMAR LTDA	Fundição FIREMAR LTDA	機械製品	1
25	Castanhal (Pará)	Fazenda YOROYAMA	Fazenda YOROYAMA	農業	1
26	Manaus (Amazonas)	Fazenda HORIKAWA	Fazenda HORIKAWA	農業	1
計					26社

附表 5 回答者一覽表

年齢	氏名	出身界	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
36	折田 芳光	福岡	自営(機械)	折田機械工業	São Paulo	
36	前川 時仁	石川	製品工程分析	OLIVETTI	Guarulhos	
36	高梨 輝久	神奈川	機械仕上	INTRAL	Caxias do Sul (Rio Grande do Sul)	
36	岡本 文和	東京	自営(機械仕上工)	シントロナイズ機械工業	São Paulo	
36	筒井 良和	長崎	自営(電子部品製造)	ニセイ商工	São Paulo	
36	谷口 俊夫	広島	金型製作工	CONSTANTA	São Paulo	
36	石川 晃治	愛知	機械設計	WAPSA AUTO PEÇAS	São Paulo	
36	稲川 恵一	兵庫	電気修理検査部長	STANDARD ELÉTRICA	Rio de Janeiro	
36	和田 首郎	大阪	電力、電気保安	CHRYSLER	São Bernardo do Campo	
36	村山 忠彦	熊本	機械設計技術	モトラジョ商工	São Paulo	
36	宮澤 進男	長野	設計第二課長	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
36	秋元 真一	神奈川	電気技師	GENERAL ELETRICA	Santo André	
36	伊藤 昭二	神奈川	治工具工	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Paulo	
36	小林 晋司	東京	自営(電気部品修理販売)	アルテックス電気商会	São Paulo	
36	鈴木 清夫	東京	土木設計(技術部長)	DIMENSIONAL	São Paulo	
37	吉田 稔	岡山	検査課長	豊和工業	Mogi das Cruzes	
37	福沢 哲男	東京	生産管理	南米鈔造	Itaguai (Rio de Janeiro)	
37	吉野 五男	大分	品質管理	ウジミナス製鉄	Ipatinga (Minas Gerais)	
37	佐藤 恒晃	福岡	工程分祈	GENERAL MOTORS	São José dos Campos	
37	田中 司	埼玉	企画開発	サンスイ プラスチコ商工	Embú	
37	岩崎 久男	茨城	製造技術部長	豊和工業	Mogi das Cruzes	
37	松生 建夫	茨城	フライズ工係長補佐	豊和工業	Mogi das Cruzes	
37	岩下 義夫	東京	プログラマー	EMBRAER	São José dos Campos	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
37	山 松 繁	福井	機械設計製図	ISAM-ELUMA	Santo André	
37	野 小 実	神奈川	品質管理責任担当	大久保工業	São Bernardo do Campo	
37	山 神 秀	神奈川	共同経営(機械組立)	シンクロナイズ機械工業	São Paulo	
37	崎 杉 彦	神奈川	共同経営(フライス盤)	シンクロナイズ機械工業	São Paulo	
37	谷 川 秀	神奈川	自営(機械部品)	ダイエー機械工業	São Paulo	
37	馬 島 勲	神奈川	金型工	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
37	雅楽川 政	神奈川	熱処 理	小松製作所	Suzano	
37	丹 治 勝	神奈川	放電加工(フタサーベス)	ジャパックス	Ribeirão Pires	
37	佐 藤 五 郎	静 岡	金 型 工	CONSTANTA	Pibeirão Pires	
37	倉 斗 義	神奈川	機械組立工	休 職 中	(São Paulo)	
37	宇 佐 見 光 男	神奈川	金 型 工	FORD MOTOR	São Paulo	
37	山 下 明	神奈川	自営(鉄骨、鉄サッシ)	インコ トウキョウ	Manaus (Amazonas)	
37	興 水 裕 司	神奈川	品質 管 理	小松製作所	Suzano	
37	川 島 重 昌	山 梨	砂型機械工作設計	DEDINI	Piracicaba	
38	長 瀬 昌 機	神奈川	フライス盤工	WALITA	São Paulo	
38	佐 藤 良 昭	秋 田	機 械 工	休 職 中	(São Paulo)	療養中
38	本 田 三 夫	長 崎	工 程 管 理	FORD	São Bernardo do Campo	
38	新 盛 五 夫	鹿 児 島	設計技能者	CHRYSLER	São Bernardo do Campo	
38	小 林 操	埼 玉	自営(非鉄合金製造)	FREMAR	São Bernardo do Campo	
38	鈴 木 毅	埼 玉	冶金技師	FUNDI-BEM	Diadema	
38	保 田 新 一	神奈川	自営(食料品店)	ルージ ラーモス マーケット内	São Bernardo do Campo	
38	佐 藤 隆 光	岩 手	機 械 工	MECANICA PESADA	Taubaté	
38	安 藤 明 信	秋 田	工 作 課 長	ダルマ通信工業	Taubaté	
38	根 本 元 隆	埼 玉	機械仕上 班 長	CATERPILLAR	São Paulo	
38	森 隆	神奈川	金 型 設 計	GENERAL MOTORS	São Caetano do Sul	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
38	内 雄	福島	金型仕上工	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Benrardo do Campo	
38	橋 功	千葉	保守	日本 欽 塔	Caçapava	
38	小 良	京都	品質検査	BROWN BOVERI	Osasco	
38	塩 保	栃木	機械設計	BARDELLA	Guarulhos	
38	岩 元	東京	海洋生物研究調査	UNIVERSIDADE SÃO PAULO	São Paulo	
38	納 長	佐賀	工程技師	GENERAL MOTORS	São Caetano do Sul	
38	寺 達	岡山	金型工	GENERAL MOTORS	São Caetano do Sul	
39	前 正	神奈川	自動車体設計	BRASINCA	São Caetano do Sul	
39	佐 浩	埼玉	金型工	小松製作所	Suzano	
39	坂 一	福島	金型工	池森機械製作所	São Paulo	
39	大 夫	神奈川	金型設計	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
39	渡 真	神奈川	研削盤工	WALITA	São Paulo	
39	柳 井	神奈川	セールスマン	AGRO-NIPPO	São Paulo	
39	柳 町	青森	設計士	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Paulo	
39	浜 弘	神奈川	車体設計	FORD(CENTRO DE PESQUISAS)	São Bernardo do Campo	
39	増 恒	神奈川	共同経営(下請部品)	シンクロナイズ機械工業	São Paulo	
39	滝 本	北海道	設計士	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
39	草 野	福島	金型技能者	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
39	浜 雄	富山	自営(修理工場)	エレトロニカ ハマイ	São Paulo	
39	山 幹	茨城	電気設計	豊和工業	Mogi das Cruzes	
39	長 正	兵庫	機械設計製図	DEDINI	Piracicaba	
39	前 勝	三重	機械設計	ブラジル各種重機(C. B. C.)	Varginha (Minas Gerais)	
40	岩 田	神奈川	治工具設計	BARDELLA	Guarulhos	
40	藤 明	東京	電子技術者	PHILCO-FORD	Taubaté	
40	小 嶋	東京	共同経営(電気技師)	チェリー無線	São Paulo	

渡航 年次	氏 名	出身 県	現在の 職	現在の 就労企業名	企業 所在地	備 考
40	鈴木 久	愛知	エンジン設計	MERCEDES-BENZ	São Bernardo do Campo	
40	齊 初	京都	工務部次長	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
40	平 光	長崎	品質管理課長代理	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
40	大 倉 義	神奈川	旋盤工	VIDROS VITON	São Paulo	
40	平 塚 修	岩手	大型発電設計	BROWN BOVERI	Osasco	
40	田 辺 彰	東京	治工具仕上	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
40	黒 田 信	北海道	機械モデル工	FORD MOTOR	São Bernardo do Campo	
40	大 友 榮	東京	プレス金型	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
40	大 熊 治	東京	製造管理	ポリスビロン商工	São Paulo	
40	鈴木 忠	神奈川	設計技師	CLARK	Valinhos	
40	大 西 悦	神奈川	銀行員(課長)	東京銀行	Rio de Janeiro	
40	林 正 俊	大阪	共同経営(旋盤、フライス)	ブラズメツカ機械工業	São Paulo	
40	吉 田 文 彦	北海道	冶金技師	GENERAL MOTORS	São Paulo	
40	大 路 幸 直	兵庫	冶金設計	ARTEB	São Bernardo do Campo	
41	鈴木 寿 丸	神奈川	金型設計	神田電子工業	São Paulo	
41	小 池 益 三	山口	金型仕上	サンキ設計事務所	São Paulo	
41	陣 内 豊 武	佐賀	自営(設計事務所)	OLIVETTI	Guarulhos	
41	深 草 正 利	神奈川	フライス盤工	初田工業	Guarulhos	
41	大 戸 利 雄	富山	生産部技術員	トヨタ自動車	São Bernardo do Campo	
41	増 田 広 司	長野	金型工	FORD MOTOR	São Paulo	
41	神 谷 年 成	岐阜	機械部長	ダルマ通信工業	Taubaté	
41	平 井 一 彦	兵庫	金型工	FORD MOTOR	São Paulo	
41	長 藤 榮 一 郎	福岡	機械工	クラシキ粉粒	Ponta Grossa(Paraná)	
41	馬 場 治	長崎	電話修理 自営(電気器具修理)	ソニー モトランオ 馬場商会	São Paulo São Paulo	

巡 航 年 次	氏 名	出身 地	現 在 の 職 種	現 在 の 就 労 企 業 名	企 業 所 在 地	備 考
41	平林 茂	新潟	自営(電気製品販売修理)	平林商会	São Paulo	
41	米岡 寛	愛媛	電気設計	SIEMENS	São Paulo	
41	中元 明	岡山	電子課長	FANEM	São Paulo	
41	磯 達	群馬	生産技術課長	ヤンマー	Indaiatuba	
41	巖 本	愛知	自営(木工所)	巖本木工所	São Paulo	
41	菊地 勉	秋田	機械設計	INDUSTRIA VILLARES	São Paulo	
41	池田 夫	鹿児島	設計係長	ERMETO	São Paulo	
41	長谷川 久	新潟	金型設計	SERMAR	Santo André	
41	一條 輝	愛知	検査員	アトランチカ皮革工業	Guarulhos	再渡伯
41	小林 茂	大阪	木工	GENERAL MOTORS	São Caetano do Sul	
41	広瀬 壯	広島	電気設備設計	SOBENIAL	São Paulo	
41	松永 史	宮崎	金型工	FORD MOTOR	São Paulo	
41	名和 勇	千葉	化学分析	サンズイプラスチック商工	Embú	
41	小野木 昭	北海道	機械設計技術者	MECANICA PESADA	Taubaté	
41	千田 之	東京都	機械設計技術者	EMBRAER	São José dos Campos	
41	緒方 任	神奈川県	機械設計製作課長	サトケン電球工業	Guarulhos	
41	速藤 三	岐阜	溶接課長	EBSE	Sant'issima (Rio de Janeiro)	
41	柳生 夫	岡山	自営(電気工事士)	サニ一電気	São Paulo	
41	末永 三	広島	設計	BARDELLA	Guarulhos	
41	萩原 進	東京都	製図工	A. STEFANO	São Paulo	
41	大野 利	大阪	機械設計	三洋電気	São Paulo	
41	高津 健	兵庫	設計製図	ASEA	Guarulhos	
41	角川 一	広島	溶接工	フジメック機械工業	São Paulo	
41	菅 昭	広島	ボイラー設計	ブラシムル機械重機(C. B. C.)	Varginha (Minas Gerais)	
41	山下 幸	熊本	製罐工	EBSE	Sant'issima (Rio de Janeiro)	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
42	梶川 敏	鳥取	金型工	エレメック電気工業	Sao Paulo	
42	渡辺 守男	筑前	治工具係長	Z F	Sao Caetano do Sul	
42	竹口 勇	埼玉	電気器修理	ソニー モトラジオ	Sao Paulo	
42	尾崎 真次	東京	機械設計	ブラジール特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
42	今村 勇	大阪	機械組立工	モトラジオ商工	Sao Paulo	
42	安部 典	神奈川	設計	L. P. W	Sao Paulo	
42	高田 実	兵庫	銀行員	東京銀行	Sao Paulo	
42	原田 光	兵庫	自営(自動車板金塗装)	ソールナリョセンテラ自動車修理工場	Sao Paulo	
42	藤沢 裕	神奈川	自営(洋品店)	アコ商店	Santo André	
42	伊藤 邦	神奈川	治工具設計	L. P. W.	Sao Paulo	
42	安西 英	神奈川	プラスチック型加工	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	Sao Bernardo do Campo	
42	西林 武	神奈川	電気機器修理工	WESTINGHOUSE	Sao Bernardo do Campo	
42	金谷 正	岐阜	金型工	SERMAR	Santo André	
42	西谷 義	兵庫	電気設計長	東芝電気	Sao Bernardo do Campo	
42	福田 君	大阪	機械設計	ENCO	Santo André	
42	青山 次	長崎	空調設計	ジャチャック電気工業	Sao Paulo	
42	大坪 高	岐阜	資材管理	日本鉄塔	Caçapava	
42	道正 之	鳥取	機械組立仕上工	中田商工	Diadema	
42	植田 保	広島	砌工場長	フジメック機械工業	Sao Paulo	
42	秋葉 裕	広島	工場設備設計	COBRAPI	Sao Paulo	
42	甲斐 征	神奈川	品質検査係長	ジャチャック電気工業	Sao Paulo	
42	松本 一	静岡	設計	BRASSINTER	Sao Paulo	
42	鳴野 洋	静岡	機械設計	BRASSINTER	Sao Paulo	
42	野野 隆	兵庫	金型工	久保田鉄工	Diadema	
42	西野 隆	北海道	機械技術者	中田商工	Diadema	
42	梶川 敏	鳥取	金型工	中田商工	Diadema	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
42	国谷 明	東京	設計製図	EMBRAER	São Jose dos Campos	
42	森田 繁	北海道	交換機設計	日本電気(NEC)	Guarulhos	
42	渡辺 定	大阪	工程管理	BROWN BOVERI	Osasco	
42	村上 光	大分	機械組立	モトラジョ商工	São Paulo	
43	佐藤 幸	鳥取	金型治具	ESTAMPARIA NORMA	Diadema	
43	吉原 伸	佐賀	部長	モトラジョ商工	São Paulo	
43	阿部 真	東京	設計	東芝電気	São Paulo	
43	西川 正	茨城	工業技術者	COFAP	Santo André	
43	中野 正	岡山	工程管理	中田商工	Diadema	
43	鈴木 義	静岡	金型設計	SUPRENS	São Paulo	
43	堀川 正	新潟	自営(農業)	堀川農場	Manaus(Amazonas)	
43	鈴木 富	神奈川	鋳造工場長	WHEEL ABRATOR	São Paulo	
43	菅原 三	愛知	設計製図	初田工業	Guarulhos	
43	坂本 弘	大阪	電気器修理	パイオニア電気	São Paulo	
43	宮川 昭	長崎	電気技術者	エレットロ フラネット	São Paulo	
43	増田 幸	東京	機械設計	INDUSTRIA VILLARES	São Bernardo do Campo	
43	岩城 幸	北海道	金型工	FORD MOTOR	São Paulo	
43	佐竹 温	愛知	機軸技術者	ブラタク製糸	Bastos	
43	西田 洋	山梨	機械設計	豊和工業	Mogi das Cruzes	
43	西谷 繁	北海道	航空機設計	EMBRAER	São José dos Campos	
43	藤代 一	北海道	生産現場課長	グラスリッチ プラスチック工業	São Paulo	
43	島立 孫	東京	製糸技術者	ブラタク製糸	Bastos	
43	林 茂	長野	設計	松下電器	São Paulo	
43	川野 友	長野	設計製図	VOLKS WAGEN(FABRICAL)	São Bernardo do Campo	
44	今田 栄	広島	設計製図	中田商工	Diadema	

渡航 年次	氏 名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備 考
44	大 俊	山形	機械設計	NORDON	Sao Paulo	
44	高 恒	神奈川	輸入業務	ダルマ通信工業	Taubaté	
44	結 健	神奈川	機械設計製図	豊 和 工 業	Mogi das Cruzes	
44	前 昌	三重	フライス盤工	切 田 工 業	Guarulhos	
44	紫 文	兵庫	営業部主任	東 山 電 線	Campinas	
44	早 直	高知	役員	エレントロ プラネット	Sao Paulo	
44	西 温	京 都	設計技術者	豊 和 工 業	Mogi das Cruzes	
44	杉 紀	茨 城	設計技師	WALITA	Sao Paulo	
44	大 彰	埼 玉	自営(冷凍設計組立)	セイカン工業	Osasco	
44	森 総	埼 玉	銀行員	南 米 銀 行	Sao Paulo	
44	五 尊	東 京	設計	中 田 商 工	Diadema	
44	植 卓	大 阪	製菓課長	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
44	片 茂	山 口	機械技能者	HITER	Sao Paulo	
44	久 勝	大 阪	設計	三 洋 電 気	Manaus(Amazonas)	
44	上 狭	新 潟	設計	ブラジル汽機重機(C. B. C.)	Sao Paulo	
44	藤 修	岩 手	機械仕上	ヤンマー	Indaiatuba	
44	小 和	広 島	設計製図	ELEVADOR SUR	Porto Alegre (Rio Grande do Sul)	
44	在 久	福 岡	機械設計	大東工業	Sao Caetano do Sul	
45	平 茂	東 京	生産企画	グラスリッチ プラスチコ工業	Sao Paulo	
45	岩 厚	鹿 児 島	設計製図	伯 國 精 機	Sao Paulo	
45	田 正	栃 木	電気組立	BROWN BOVERI	Osasco	
45	大 種	神奈川	治工具仕上	久 保 田 鉄 工	Diadema	
45	中 彦	千 葉	旋盤工	ダルマ通信工業	Taubaté	
45	福 三	栃 木	機械設計製図	VOITH	Sao Paulo	
45	福 信	大 阪	設計	KLEBER	Campinas	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職任	現在の就労企業名	企業所在地	備考
45	小田 俊勝	広島	カメラ修理(歩合)	フォト フェニックス	São Paulo	
45	徳小 敏夫	兵庫	油圧設計	中田 商工	Diadema	
45	山倉 良男	千葉	プラント設計	ブラジルの汽機重機(C. B. C.)	São Paulo (Itaguai) (Rio de Janeiro)	
45	宮野 清重	神奈川	機械設計	休 職 中	Santo André	
45	村田 有雄	愛知	電気設計	PETROQUIMICA	Diadema	
45	指野 健三	鹿児島	自動車部品製造工場長	BRASILTALIA	Yarginha (Minas Gerais)	
45	前野 新太郎	兵庫	機械設計製図	ブラジルの汽機重機(C. B. C.)	Mogi das Cruzes	
45	松原 充	愛知	窯業技師	ブラジルの特殊陶業(N. G. K.)	Diadema	
45	野村 通治	鹿児島	プラスチック、ゴム課長	中田 商工	São Paulo	
45	北尾 明	京都	電気技能者	SIEMENS	São Paulo	
45	平田 秀盛	大阪	電気器修理	ナショナルサービスマンセンター	São Paulo	
45	香月 幸三	佐賀	電気器修理	ニセイ 商工	São Paulo	
45	藤原 敏行	手塚	電気機械	日本 鉄塔	Cacapava	
45	西野 康次	京都	機械設計製図	大東 工業	São Caetano do Sul	
46	星 有	大阪	設計	ブラジルの汽機重機(C. B. C.)	São Paulo	
46	阿部 信正	神奈川	設計	BRASINCA	São Caetano do Sul	
46	山野 正一	神奈川	機械設計	ブラジルの特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
46	佐藤 義典	熊本	機械工	ブラジルの三九	São Paulo	
46	木暮 義典	大阪	自営(映画制作)	ドキュメンタリーフィルムプロ(FDPP)	São Paulo	
46	山崎 毅	福岡	計装員	CIQUINE	Salvador(Bahia)	
46	松本 茂	兵庫	電気技能者	松下 電器	São José dos Campos	
46	横山 八	三重	整備課係長	ブラジルの特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
46	香川 幸三	茨城	自営(農業)	横山 農場	Castanhal(Pará)	
46	土屋 幸三	大分	電気修理工	松下 電器	São José dos Campos	
46		東京	工事	ジャチャック電気	São Paulo	

既航 年次	氏 名	出身 県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備 考
46	角谷 博	愛知	農業技師	コチア産業組合	São Paulo	
46	川和 夫	広島	電気技能者	三洋電気	São Paulo	
46	高桑 元	北海道	設計製図工	ブラジール汽機重機(C. B. C.)	São Paulo	
46	矢口 直志	神奈川	工具設計	ダルマ通信工業	Taubaté	
46	藤井 孝三	東京	電気技能者	東洋紡	Americana	
46	田中 栄	東京	プラスチック成型技能者	グラスリッチ プラスチック工業	São Paulo	
46	海宝 昭	千葉県	設計	小松製作所	Suzano	
46	竹本 司	岡山	治工具設計	CATERPILLAR	São Paulo	
46	沢井 昭	大阪	機械仕上	ダルマ通信工業	Taubaté	
46	若久 隆	福岡	計装関係	ブラジール汽機重機(C. B. C.)	São Paulo	
46	小林 勇	山梨	電気設備	サニ - 電気	São Paulo	
46	豊島 孝	東京	技能者	サニ - 電気	São Paulo	
46	平岩 夫	東京	設計製図工	サニ - 電気	São Paulo	
46	星野 正	東京	電気設備工	サニ - 電気	São Paulo	
46	村上 正	岡山	総務事務	リニ - 電気	São Paulo	
46	髙尻 安	富山	設計製図工	MAPRI	São Paulo	
46	花月 幸治	東京	新製品設計	モトラゾノ商工	São Paulo	
46	新宅 光	広島	機械設計	ブラジール汽機重機(C. B. C.)	São Paulo	
46	山口 伸	群馬	金型工	ダルマ通信工業	Taubaté	
46	藤垣 弘	東京	チューブ計算	ブラジール汽機重機(C. B. C.)	Varginha (Minas Gerais)	
46	遠藤 孝	福島	清度工	日本鉄塔	Caçapava	
46	石井 伊佐夫	東京	設計技能者	リノロン帝人	Salvador(Bahia)	
46	竹内 一	三重	機械修理	前川冷凍	Diadema	
46	加賀 庄司	鹿児島	電子技能者	TELEFUNKEN	São Paulo	
46	林 治男	宮崎	自営(植製業)	セイホー工業	Diadema	

船名 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
46	上遠野 和臣	神奈川	化学プラント設計	SETAL	São Paulo	
47	森田 孝男	神奈川	設計	ヤンマー	Indaiatuba	
47	竹内 邦和	埼玉	共同経営(電気設計)	ダイソン 電気	Osasco	
47	青海 昭二	東京	設計製図工	日本 欽塔	Caçapava	
47	松本 文夫	島根	貿易 事務	丸 紅	São Paulo	
47	磯部 互治	神奈川	設計製図工	モトラジョオ商工	São Paulo	
47	阿部 洋治	北海道	無線機器取付	ブラズオーシャン商会	São Paulo	
47	石川 之治	東京	フライス 盤長	ブラズメック機械工業	São Paulo	
47	赤坂 高治夫	福岡	電気工 事士	エレトロ プラネット	São Paulo	
47	坪井 吉夫	広島	電気工 事士	エレトロ プラネット	São Paulo	
47	定松 龍彦	佐賀	ボイラー-計装設計	ブラジル汽機重機(C. B. C.)	Varginha (Minas Gerais)	
47	柳川 秀吉	神奈川	電気工 事	エレトロ プラネット	São Paulo	
47	江頭 利春	福岡	土木 測量	エレトロ プラネット	São Paulo	
47	武田 順三	岩手	電気 修理	エレトロ プラネット	São Paulo	
47	小石 信三	千葉	電気工 事	エレトロ プラネット	São Paulo	
47	石増 武俊	山口	設計 製図	池森機械製作所	São Paulo	
47	小島 和彦	大阪	プラスチック成型射出 機械製図工	グラスリッチ プラスチック工業	São Paulo	
47	上野 和彦	埼玉	機械 技術	豊和工業	Mogi das Cruzes	
47	吉田 友義	神奈川	設計 技能者	前川 冷凍	Diadema	
47	吉田 友義	宮崎	設計 修理調整	ブラジル 三九	São Paulo	
47	仲丸 昌陸	新潟	電気 修理	TELEQUIPO	São Paulo	
47	関本 義英	神奈川	機器 修理	モトラジョオ商工	São Paulo	
47	関本 義英	三重	機械 設計	SPERRYRAND	São Paulo	
47	湯浅 央	大阪	自営(アンテナ製作/設置)	ダイナン 電気	Osasco	
47	湯浅 央	東京	設計 製図	MONTREAL	São Paulo	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
47	本城 民夫	東京	工作機械修付	ブラジル三九	São Paulo	
47	高野 秀雄	秋田	治工具工	前川 冷 凍	Diadema	
47	平田 保宏	佐賀	金型, 治工具設計	WAPSA AUTO PEÇAS	São Paulo	
47	望月 孝	東京	機械設計	アタ コンブストンエス	Petrópolis (Rio de Janeiro)	
47	湯口 幸成	静岡	機械組立	モトラノオ商工	São Paulo	
47	真砂 晋	福岡	空調機器設計	AR FRIO	São Paulo	
47	金井 成久	群馬	新聞記者	パウリスタ新聞社	São Paulo	
47	鎌田 幸夫	愛媛	機械修付	ヤンマー	Indaiatuba	
47	松下 政信	広島	機械設計	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
47	横谷 重雄	神奈川	機械設計	CYANAMIO	Rio de Janeiro	
47	末定 輝	福井	機械設計	ブラジルの機械工場(C. B. C.)	Varginha(Minas Gerais)	
47	寺田 雄介	東京	機械管理	ELECTRO ALLOY	São Paulo	
47	草村 徹	熊本	品質検査	ブラジル三九	São Paulo	
47	樋口 茂	東京	設計技術者	フジララス電気	São Paulo	
47	大庭 民光	宮城	機械設計	AR DEI. IA	São Paulo	
47	吉田 雄二	静岡	金型仕上げ工	MAGAL	São Paulo	
47	生村 憲二	三重	制御盤設計	SIEMENS	São Paulo	
47	中村 泰	神奈川	製鋼工	大 東 工 業	São Caetano do Sul	
47	阿部 正幸	東京	空調機械設計	ノチャック電気	São Paulo	
47	埋田 正之	静岡	木型工	USMOLD	São Paulo	
47	神原 立海	愛知	ミシン設計	ELGIN	Mogi das Cruzes	
47	牛田 保固	愛知	品質検査	日 本 鉄 塔	Caçapava	
47	小林 俊博	山梨	電気設備	クラシヤ紡績	Ponta Grossa(Paraná)	
47	辻 哲三	兵庫	空調設計	ノチャック電気	São Paulo	
47	日 浦 安生	大分	電気機器修理	洋ケービスセンター	São Paulo	

通年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
47	中原 節男	鹿児島	金属熱処理	PYRO	São Paulo	
47	多田 邦治	徳島	化学技術	ファテック商工	Aruja	
47	川越 和幸	埼玉	化学技術者	ファテック商工	Aruja	
47	前田 欣哉	大阪	品質管理	サンスイ プラスチック商工	Embú	
48	木下 澄雄	栃木	機械修理	南米鋳造	Itaguai (Rio de Janeiro)	
48	井上 和夫	山形	プラスチック金型工	BURNAT	São Paulo	
48	小野 忠道	岡山	機械保全工	休 塚 中	(São Paulo)	
48	梅津 久夫	福島	生産管理(電子機器設計)	山崎 電子	São Paulo	
48	中川 純三	石川	電子技術者	山崎 電子	São Paulo	
48	宮崎 三則	愛知	機械設計	ELGIN	Mogi das Cruzes	
48	池崎 泰昇	福岡	計器修理	ブラジル(鐵重機(C. B. C.))	Varginha (Minas Gerais)	
48	鈴木 貞夫	東京	電気技術者	ブラジル(鐵重機(C. B. C.))	Varginha (Minas Gerais)	
48	半沢 真洞	福島	旋盤工	三友 保 險	São Paulo	
48	榎川 能夫	岐阜	金型工	サンスイ プラスチック商工	Embú	
48	木下 實男	千葉	電気技術者	ポビエルク協和	São Paulo	
48	川念 正春	千葉	旋盤修理工	フジメック機械工業	São Paulo	
48	加藤 秀博	東京	機械修理	フジメック機械工業	São Paulo	
48	川添 敏久	山形	機械技能者	豊和工業	Mogi das Cruzes	
48	高橋 敏三	長崎	金型、治具設計	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
48	益岡 子三	東京	治工具仕上げ工	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
48	安岡 茂	神奈川	治工具仕上げ工	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
48	犬上 保一	高知	土木技師	ポラソン建設	São Paulo	
48	佐藤 保一	滋賀	電子機器修理	大石 電気	São Paulo	
48	林 外志明	福島	機械組立工	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
48		石川	機械仕上げ	豊和工業	Mogi das Cruzes	

運航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
48	中川 広	岐阜	機械設計	豊和工業	Mogi das Cruzes	
48	佐藤 平助	秋田	電気設備工	ボビエール ヤマト	São Paulo	
48	大塚 裕二	三重	生産管理技術者	トーメン製油	Guararapes	
48	沢里 明	東京	電気製品修理	EVADIN	São Paulo	
48	山本 侃良	東京	電子工学技師	モトランオ商工	São Paulo	
48	原 幸	鹿児島	機械設計	VALMET	Mogi das Cruzes	
48	阿部 礼	青森	電子技能者	デンハプラス電気	São Paulo	
48	石渡 利根男	東京	航空機整備	EMBRAER	São José dos Campos	
48	藤間 勇	埼玉	貿易事務	トヨタ通商	São Paulo	
48	袖川 正	青森	電信機組立	デンハプラス電気	São Paulo	
48	菅木 万紀雄	神奈川	品質検査	ヤンマー	Indaiatuba	
48	富山 秀男	鹿児島	機械設計	ヤンマー	Indaiatuba	
48	宮本 悟	青森	設計	ブラジール汽機重機(C. B. C.)	Varginha(Minas Gerais)	
48	小林 進	岩手	品質管理	神田電子工業	São Paulo	
48	高橋 栄治	神奈川	品質検査	サンスイ プラスチコ商工	Embú	
48	高瀬 利充	岩手	フライス盤工	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
48	菅原 俊	神奈川	機械設計	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
48	和田 良太郎	愛媛	機械設計	豊和工業	Mogi das Cruzes	
48	森下 邦人	石川	機械設計	豊田工業	Mogi das Cruzes	
48	穴口 茂	大阪	機械設計	ブラジール汽機重機(C. B. C.)	Varginha(Minas Gerais)	
48	松尾 克則	福岡	空調設計設備	ボビエール ヤマト	São Paulo	
48	黒山 明彦	兵庫	空調衛生設備設計	ボビエール ヤマト	São Paulo	
48	伊吹 忠	東京	電子通信技能	モトランオ商工	São Paulo	
48	川村 幸男	山形	旋盤工	ノンクロノイズ機械工業	São Paulo	
48	成田 尚	青森	自営(電気工事士)	ノンゾエアル	São Paulo	

通年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
49	坂下元男	佐賀	機械設計	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
49	松井陽二郎	秋田	機械設計	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
49	土屋安行	静岡	機械設計	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
49	藤田住男	愛知	金属結処理	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
49	谷口満紀晴	岡山	機械設計	ブラジル特殊陶業(N. G. K.)	Mogi das Cruzes	
49	仁平秀逸	北海道	電子回路設計技師	ナショナルサービスマン	São Paulo	
49	深野順二	神奈川県	製図	サンスイプラスチック商社	Embú	
49	関道雄	富山	エンジン設計	サンスイプラスチック商社	Indaiatuba	
49	野口広	熊本	機械保全	サンスイプラスチック商社	Embú	
49	河野只雄	島根	製品管理	三井肥料	São Paulo	
49	松平幸雄	神奈川県	非鉄金属製造, 加工技師	TERMO MECANICA	São Bernardo do Campo	
49	長井紀一郎	神奈川県	電気設備工	TERMO MECANICA	São Bernardo do Campo	
49	渡辺祐一	大阪	自営(機械設計技師)	ネスブニッポン設計事務所	São Paulo	
49	賀田好治	大分	機械設計	トヨタ自動車	São Bernardo do Campo	
49	熊井中治	長野	電気設備工	TERMO MECANICA	São Bernardo do Campo	
49	五十嵐富士雄	新潟	機械設計製図	エレメック機械工業	São Paulo	
49	鷲巣啓司	静岡県	機械設計製図	ブラジル汽機重機(C. B. C.)	Varginha(Minas Gerais)	
49	五十嵐正史	愛知	機械設計製図	ELGIN	Mogi das Cruzes	
49	寺岡秀史	大分	電気設備設計	エレメック機械工業	São Paulo	
49	小田光	東京都	プラスチック技術企画開発	グラスリッチプラスチック工業	São Paulo	
49	伊野光	東京都	金型工	グラスリッチプラスチック工業	São Paulo	
49	平野敬	和歌山	フライス盤工	金子機械	São Paulo	
49	榎島博	北海道	電気技能者	デンパブラス	São Paulo	
49	渡辺三男	福島	治工具設計	中田トキコ商工	Diadema	
49	田嶋信二	大阪	土木技能者	ポラン建設	São Paulo	

渡航 年次	氏名	出身県	現在の職種	現在の就労企業名	企業所在地	備考
49	森口友志	鳥取	空調設備設計	デンバブラス	São Paulo	
49	浜口勇治	山口	エンジン設計	石川島造船	Rio de Janeiro	
49	野島政高	熊本	土木技能者	ボラソン建設	São Paulo	
49	関信爾	大阪	治工具仕上	CONSTANTA	Ribeirão Pires	
49	石川定夫	秋田	テレビ組立, 修理	大石電気	São Paulo	
49	渡辺進	静岡	電気技能者	エレットロ	São Paulo	
49	高木和博	岐阜	貿易事務	ブラスオーション商会	São Paulo	
49	伊東孝	神奈川	空調設備設計	豊和工業	Mogi das Cruzes	
49	大越陽	東京	電気技能者	HAEMAK	São Paulo	
49	野並幸雄	高知	漁業(遠洋)	大洋漁業	Santos	
49	佐京武男	東京	土木技能者	ジャックタ電気	São Paulo	
49	高木輝洋	岡山	貿易事務	ブラスオーション商会	São Paulo	
49	田村洋雄	神奈川	設計(電気技術者)	リオテック	Rio de Janeiro	
49	野口真義	東京	設備設計	ジャックタ電気	São Paulo	
49	川崎秀男	静岡	空調設備設計	ポビエルク	São Paulo	
49	塩田二岐	東京	電気工事	大洋漁業	Santos	
49	松本輝記	熊本	治工具仕上	ブラソール特殊陶業(N.G.K.)	Mogi das Cruzes	

アンケート調査票

調査日	19 年 月 日
調査対象者の氏名	

質問	回答	質問	回答
1 就労状況 (白群者は6.5に答えて下さい)			
質問	回答	質問	回答
(1) 現在の会社を離れたい理由		(7) 会社希望の別無	A 有、 B 無、
		有を人はその理由に○印をつけて下さい	人間関係、給与、業務が合わない
(2) 現在の職場に満足していますか。			会社に将来性がない、その他
・ 人間関係	A満足している B普通 C不満足	(8) 主人を中心とする家中における業務関係	
・ 仕事	A満足している B普通 C不満足	(上野、左右田、藤井、下野組長の職務)	— 主人 —
・ 厚生施設	A満足している B普通 C不満足		
・ その他 ()	A満足している B普通 C不満足	(9) 独立希望の有無	A 有、 B 無、
(3) 貴方は他の従業員に比較し貴方に評価されていると思いますか。	A思う B普通 C思わない	独立する場合はその理由は何ですか。	
		(10) 独立計画が具体化していれば、その内容を	
(4) 貴方は他社に比較し貴方と意思がありますか。	A思う B普通 C思わない D不明	③「現社株式会社職員」に計画を記入して下さい	
(5) 現在の仕事はあなたに合っていると意思しますか。	A思う B普通 C思わない		
(6) 現在の会社は完全な能力発揮と思えますか。	A思う B普通 C思わない		

質問	回答	質問	回答
(4) 1カ月の住居費	住居費 C\$	(9) 現在の居住環境(ブライム郡)	A 仕事上不自由なし B 新築位は気になる C 日常生活上に不自由しない D 日常生活に慣れる
	A 賃金 C\$		
	衣食料費 C\$		
	交通費 C\$	(10) 職場で居住が不自由しない程度になる○に要した年月	
	医療費 C\$		
	教育費 C\$		
	娯楽費 C\$	(11) 収入の有無(配偶者の分も含めて)	A 有 B 無 C\$
	(通信・水光料保険等)		
	計 C\$	(12) 経済、生活上とくに必要とするブライム郡法令	
(5) 住居の契約方法(賃借の種別)			
A 保証人あり	○会社で借居 ○知人・友人 ○保証人・保証書	4 移住に関する感想	
B 保証人無し	○資金積立 ○一切不要	(1) 移住してよかったですか	A 思う B 不明 C 思わない
		その理由は何ですか	
(6) 子供の学校費用はどうしていますか	現金で A ブライム郡 B 日本教育 C 日本式	(2) ブライム郡について期待していたかどうか	A 期待以上に良い B 期待どおり C 期待以下
(7) 家賃内での使用費	A ブライム郡 B なるべく(ブライム郡内) C 日本式 D なるべく日本式使用	○ 何をどう思いますか	A 希望 B 希望でない
(8) 移住後ブライム郡教育方法		(3) ブライム郡の住居をどう思いますか (簡単に表記のこと)	

質問	回答	質問	回答
(4) プラジールで取りたいと思っている技術者、そのは		(4) 建設のための労働者はよく使われています。	年 月
ア型は例です。			
(5) 現在(6)プログラムの取付を受けたことがありませんか。	A 有 B 無	(5) 経営者一社の範囲に限らず、多くの場合、建設現場に	年 月
おははどの程度		使われていますか。	
		(6) 建設現場はどのような状況に置かれていますか。	
(6) 建設工事技術者に対するアドバイス		(6) 経営者に出張し問題について。	
		(7) 従業員の採用方法	新聞広告、職業紹介所、知人、直接受取る
(7) その他		○今後上級技術者採用する意向はありますか。	A 有 B 無
		(8) 建設現場	
5. 独立自営者用アンケート			
(1) 独立の動機は何ですか。		(9) 今後独立自営しようとする工業技術者への	
(2) 独立自営のための所費自費はどのように調達		アドバイス	
しましたか。			

(1976. 3-3,000)

